

津市一身田公民館機械設備工事

図面リスト	
機械設備工事	
図面番号	図面名称
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)
M-03	工事区分表
M-04	案内図・屋外配管図
M-05	衛生機器表・衛生器具
M-06	給排水配管系統図
M-07	給排水設備 1、2階平面図
M-08	給排水設備 R階平面図
M-09	給排水設備 平面詳細図
M-10	空調機器表
M-11	空調配管系統図・換気ダクト系統図
M-12	空調設備 配管1、2階平面図
M-13	空調設備 配管R階平面図
M-14	換気設備 ダクト1、2階平面図
M-15	換気量計算書
M-16	自動制御設備 1、2階平面図
M-17	自動制御設備 R階平面図
A-15	立面図(1)【参考】
A-16	立面図(2)【参考】
A-18	矩計図(1)【参考】
A-19	矩計図(2)【参考】

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鉄鋼管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100 A	125A~
鉄鋼管			
ビニル管			
耐火二層管	25A~40A	50A~100A	125A~
鋼管			

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト ■ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付層Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 □ アングルフランジ工法
■ 共板フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト ■ スパイラルダクト
□ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-WU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9504 2号 40K 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K		
■ 給水管	■ 排水管	■ 給湯管	□ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	□
(屋外等)			
□ 給湯管	□ 温水管	□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管
□ 冷媒管	□	□	□
□ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)			
保温板、保温帯、ブランケット 1号 JIS A 9504			
□ 給水管	□ 排水管	□ 給湯管	□ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	□ 消火管

■ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9511 3号 保温板 JIS A 9511 3号		
□ 給水管	□ 排水管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷水管 (2~4℃)
□ プライン管	□	□	□
(屋外等)			
■ 給水管	□ 排水管	□ 給湯管	□ 冷水・冷温水管
□ プライン管	□ 消火管	□	□

□ 調合ペイント塗り塗料 (露出)	JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種		
□ 給水管	□ 排水管	□ 通気管	□ ドレン管
□ ガス管	□ 消火管	□ 油管	□ 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙導(ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&8'うがひ仕上
天井内・P S内	カシ'化紙保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&8'うがひ仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ピット内)の仕様を防水テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P S内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・温水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線		SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
温水・蒸気ヘッダ熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室		紙	アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S内		紙	アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所		紙	保温板	ポリエチレンフィルム
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温筒	鉄線	カラー鉄板
	機械室		アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム
サブライチャンパー					
消音チャンパー、エルボ					
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽		紙	アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ
排煙ダクト円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ	
煙道	フランケット		鉄線	カラー鉄板	

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金施した網目16線径0.55 による防錆処理施した平ラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 網亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA □ 保温あり □ 保温なし ■ 図面による □ その他 ()
3. RA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()

チャンパー内貼施工

- 内貼あり (mm) □ 内貼なし ■ 図面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚を含む)より40mm程度大(±2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト)とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ポイドとする。紙ポイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所(機械室・P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブレ取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の前震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けのガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設標を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
・ 土間配管は、土間防に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒筋を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊産の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

施工方法に関する事項

※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。

※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。

※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。

※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。

※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。

※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄を行い、汚損等しないようにすること。

※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。

※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。

※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

※ 工事ヤード以外に駐車場が必要となる場合には、請負業者の負担において確保すること。

※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。

※ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事を含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

総合仮設・直接仮設 工事区分						
工事	工種	項目	工事区分			
			建築	電気	機械	
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所 同備品				
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○	○	共同1棟可
		仮設便所	○	○	○	共同1棟可
	工事施設	仮囲い	○			
	現場安全	安全費	○	○	○	統括安全衛生管理は、 建築請負業者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○	○	
		揚重機費	○	○	○	
	その他	各種試験費	○	○	○	
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○	○	
		周辺道路清掃	○	○	○	
直接仮設工事		仮設足場	○			各設備業者に対して 無償にて使用させる こと。
		清掃・片付け	○	○	○	
		養生	○	○	○	

工 事 区 分										
No.	項目	建築	電気	機械	No.	項目	建築	電気	機械	
1	機械基礎及びその仕上	○			27	避難器具	○			
2	基礎・地中梁の設備工事に 関するスリーブ及び箱入れ		○	○	28	浄化槽・受水層・その他の水槽等のコン クリート躯体・断熱及び防水工事				
3	同上鉄筋補強	○			29	同上内部仕上・マンホール及び タラップ				
4	鉄骨造の設備工事 に関するスリーブ及び補強	○			30	ガソリントラップ及びコンクリート製 グリーストラップ				
5	機器取付用あと施工アンカー・鉄骨架台	○	○	○	31	ルーフトレン・フロアドレン ・雨水排水縦樋	○			
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強				32	雨水排水縦樋の樹までの横引き				○
7	軽量鉄骨下地天井、 壁ボード類の切込	補強	○		33	雨水配管の防露工事				
		切込		○	○	34	ピット・トレンチ内の排水設備工事			
8	埋込分電盤 端子盤 プルボックス	補強	○		35	出入口のマット下排水目皿及び 排水設備工事（自動ドア下排水含む）				○
		切込		○	○	36	陶製以外の流し類（業務用等の厨房流し を除く）	○		
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強	○	○	○	37	同上 附属金物及び接続工事				○
10	設備工事に伴う防水貫通用屋上スラブ コンクリート立上げ				38	浴槽				
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞		○	○	39	鏡（衛生工事に関連しない場合・特殊 寸法の場合）	○			
12	屋内外ピット・トレンチ及びそれらの蓋 マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋		○	○	40	建物外内壁・ドア・窓枠に取付ける ガラリ類（ガラリ取付け本枠等も含む）	○			
13	屋外配管用スタクション		○	○	41	シャッター・自動ドア等制御盤から 電動盤・スイッチ等に到る配管・配線		○		
14	二重スラブ内の水及び空気の漏通管 二重壁内の湧水処理費				42	煙感知機連動の扉・シャッター及び 防煙垂れ壁等の自閉用作用装置	○			
15	サイディング板、ALC板など外装材の 穴あけ		○	○	43	エレベーター昇降口・インジケーター 及び押釦の穴あけ	○			
16	同上 穴あけに伴う補強	○			44	エレベーター機械室の天井フック取付 ・床穴あけ及び床増内コンクリート				
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い		○	○	45	吊ボルトの躯体への支持	○	○	○	
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカー ・火災報知機・換気扇等の穴あけ		○	○	46	天井吊り型FCU及び全熱交換型換気扇と 操作スイッチとの渡り配管・配線				○
19	同上 天井穴あけ部の下地補強	○			47	煙感知機から連動制御盤を経て防煙ダ ンパに至る配管・配線				
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの 点検口	○			48	小便器用節水装置の制御盤以降の配管 配線				○
21	ユニットシステム（バス・トイレ・キッ チン）及び内部の配管・配線	○			49	電力	○	○	○	
22	ユニットシステム（キッチン）への 配管・配線及び接続		○	○	50	用水	○	○	○	
23	保守用タラップ手摺 （設備機器に装着するものを除く）	○			51	消火器	○			
24	換気扇取付枠			○						
25	配電盤・制御盤等の基礎（屋内外）									
26	ルーフファン									

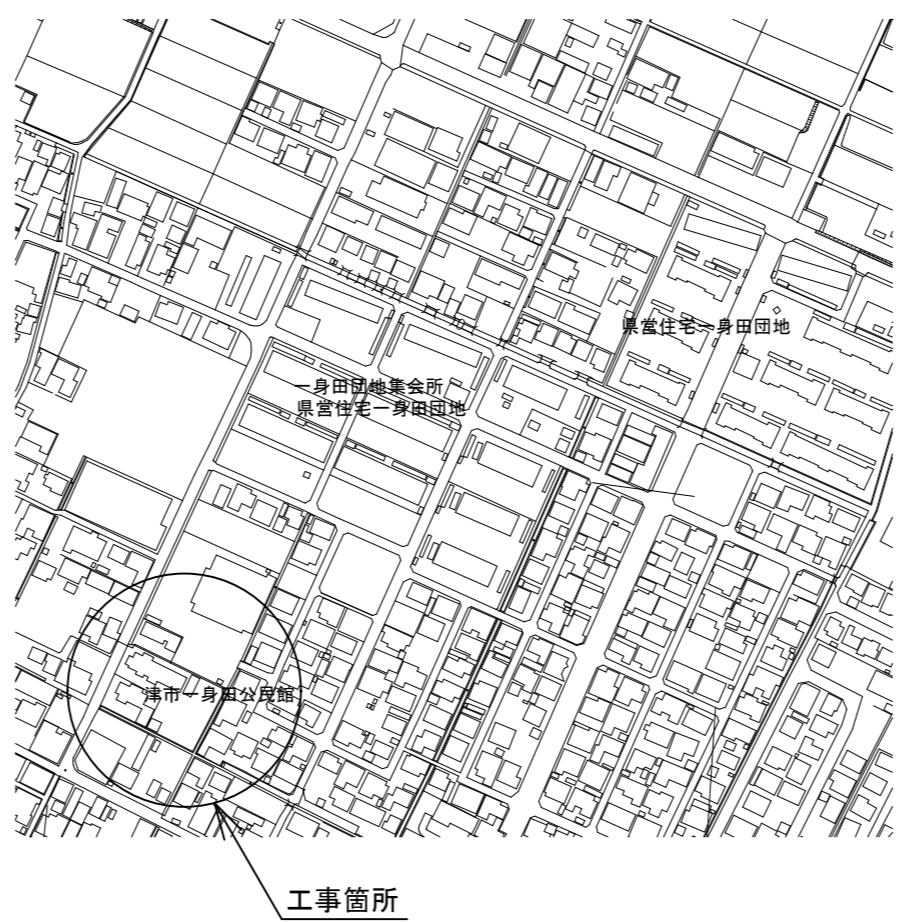
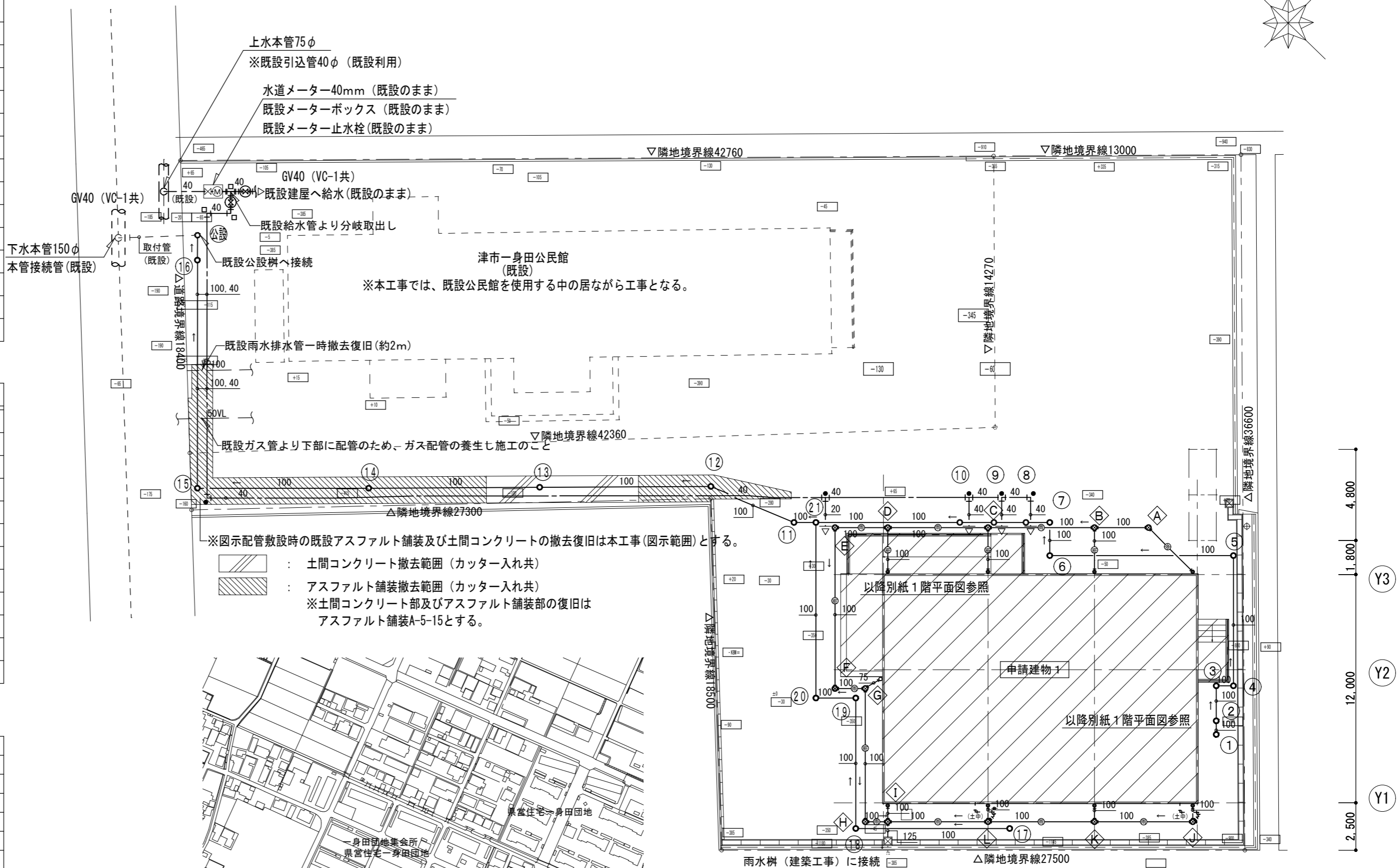
原図：A2

排水樹リスト		(汚水・雑排水用小口径インバート樹)				
(N)○	樹名称	形状	参考樹深さ	仕上地盤高	管底高	蓋種類 其他
①	樹脂製樹	200φ	H= 320	- 350	- 670	樹脂製蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
②	樹脂製樹	200φ	H= 330	- 350	- 680	樹脂製蓋(200φ) 45° 合流-管路100φ
③	樹脂製樹	200φ	H= 350	- 350	- 700	樹脂製蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
④	樹脂製樹	200φ	H= 360	- 350	- 710	樹脂製蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑤	樹脂製樹	200φ	H= 440	- 340	- 780	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑥	樹脂製樹	200φ	H= 720	- 160	- 880	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑦	樹脂製樹	200φ	H= 740	- 160	- 900	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑧	樹脂製樹	200φ	H= 750	- 160	- 910	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 合流-管路100φ
⑨	樹脂製樹	200φ	H= 770	- 160	- 930	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 合流-管路100φ
⑩	樹脂製樹	200φ	H= 790	- 160	- 950	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 合流-管路100φ
⑪	樹脂製樹	200φ	H= 1050	+ 20	- 1030	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 曲り-管路100φ
⑫	樹脂製樹	200φ	H= 1100	+ 20	- 1080	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 曲り-管路100φ
⑬	樹脂製樹	200φ	H= 1240	+ 70	- 1170	鑄鉄製防護蓋(200φ) ストレート-管路100φ
⑭	樹脂製樹	200φ	H= 1160	- 100	- 1260	鑄鉄製防護蓋(200φ) ストレート-管路100φ
⑮	樹脂製樹	200φ	H= 1070	- 280	- 1350	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑯	樹脂製樹	200φ	H= 1450	- 20	- 1470	鑄鉄製防護蓋(200φ) ストレート-管路100φ
Ⓔ	(既設)	200φ	H= 1500	- 20	- 1520	公共取付樹 (設置済み)
⑰	樹脂製樹	200φ	H= 400	- 200	- 600	樹脂製蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑱	樹脂製樹	200φ	H= 690	- 50	- 730	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑲	樹脂製樹	200φ	H= 810	- 30	- 840	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
⑳	樹脂製樹	200φ	H= 850	- 30	- 880	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
㉑	樹脂製樹	200φ	H= 1040	+ 20	- 1020	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 合流-管路100φ

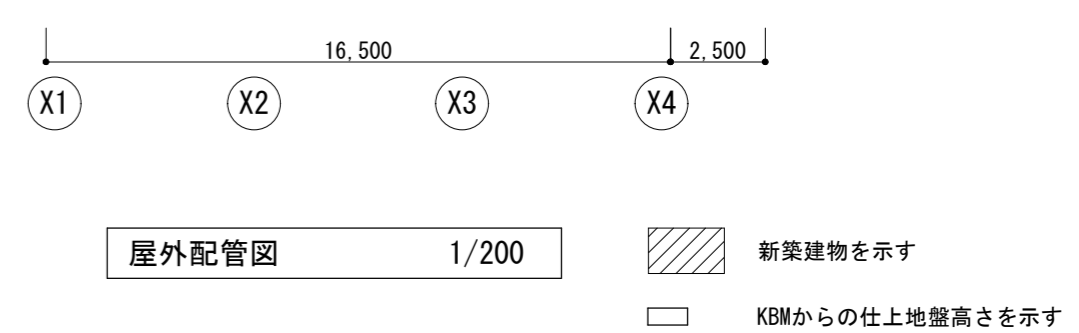
雨水樹リスト		(雨水用小口径ため樹)				
(N)◇	樹名称	形状	参考樹深さ	仕上地盤高	管底高	蓋種類 其他
△A	樹脂製樹	200φ	H= 370	- 180	- 550	鑄鉄製防護蓋(200φ) 45° 曲り-管路100φ
△B	樹脂製樹	200φ	H= 400	- 180	- 580	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 合流-管路100φ
△C	樹脂製樹	200φ	H= 540	- 100	- 640	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 合流-管路100φ
△D	樹脂製樹	200φ	H= 640	- 50	- 690	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 合流-管路100φ
△E	樹脂製樹	200φ	H= 670	- 50	- 720	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
△F	樹脂製樹	200φ	H= 780	- 30	- 810	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
△G	樹脂製樹	200φ	H= 800	- 30	- 830	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
△H	樹脂製樹	200φ	H= 860	- 50	- 900	鑄鉄製防護蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
△I	樹脂製樹	200φ	H= 830	- 90	- 920	樹脂製蓋(200φ) 90° 両側合流-管路125φ
△J	樹脂製樹	200φ	H= 360	- 390	- 750	格子蓋(200φ) 90° 曲り-管路100φ
△K	樹脂製樹	200φ	H= 460	- 340	- 800	樹脂製蓋(200φ) 90° 合流-管路100φ
△L	樹脂製樹	200φ	H= 660	- 200	- 860	格子蓋(200φ) 90° 合流-管路100φ

※ 仕上地盤高及び管底高の高さ基準はKBM=±0とする
 ※ 雨水用ため樹の泥溜め

凡例 (給排水衛生設備)		
記号	名称	備考
—	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (土中) 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外) 水道用ポリエチレン二層管
— —	給湯管	一般配管用ステンレス鋼管
—	排水管(汚水・雑排水)	硬質ポリ塩化ビニル管 [VP]
—	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 [VP]
—	屋外排水管(汚水)	硬質ポリ塩化ビニル管 [VU]
—	屋外排水管(雨水)	硬質ポリ塩化ビニル管 [VU]
⊗	埋設弁(弁ボックス共)	
⊗	水道メーター(メーターボックス共)	
⊗	給水栓・洗浄弁・混合水栓	
⊗	弁類(平面)・弁類(立上り)	
⊗	電気温水器	
⊗	排水口金物・床上掃除口	
⊗	通気口金物	
⊗	埋設配管表示	コンクリート製・金属製(鉄)
⊗	小口径樹(汚水樹・雨水樹)	
⊗	消火器(建築工事)	



案内図



原図: A2

衛生機器表

記号	名称	仕様	数量	電気仕様	備考
WHE - 1	電気温水器 (飲料・洗い物用タイプ)	形 式: 据え置き型貯湯式 貯湯容量 12 (L) 先止め式 耐震用固定金具共 付属品: 送し弁, 送しホース, 膨張水排水処理装置共	3	1φ100V 1100W以下 (コンセント)	ミニキッチン組込据置形 1階 共用事務室 1階 ホール 2階 湯沸室

<特記事項>

- ※ 各衛生器具の色は現場監督員の指示による。
- ※ 洋式便所のリモコン便器洗浄ユニット用電源コンセント及び洗面器の自動水栓等電源コンセントは電気工事とする。
- ※ 小便器のセンサー式自動フラッシュ弁の電源供給は電気工事とする。
- ※ 電気温水器の電源容量はヒーター容量とし参考値とする。
- ※ 各給湯設備の固定方法については、平成12年通告1388号(改正平成24年国土交通省告示第1447号)に定める規定に基づき固定方法に基づき支持固定を行うこと。

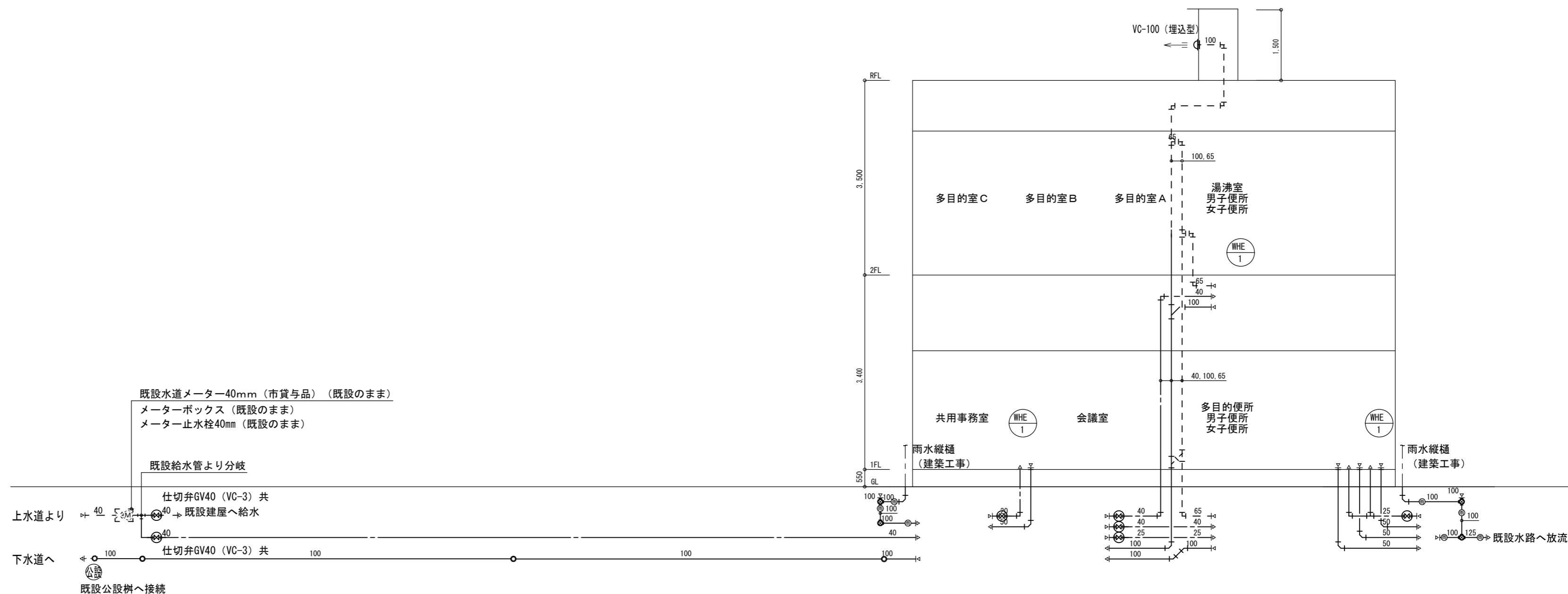
衛生器具表

名称	国土交通省記号 (JIS番号)	参考品番 (TOTO)	付属品明細	参考品番 (LIXIL)	付属品明細	合計	1階					2階			屋外	
							共用事務室	男子便所	女子便所	多目的便所	ホール	会議室	男子便所	女子便所		湯沸室
洋風便器(ロータンク)	C1200S	CS597BCS	SH596BAYR(洗浄タンク), TCF585S(洗浄便座・擬音装置付 1φ100V316W) YH702(棚付二連紙巻器)共	BC-P20SM	DT-PA250CH(洗浄タンク), CW-PA11F-NE(洗浄便座・擬音装置付 1φ100V350W) CF-008-1, CF-AA64(棚付二連紙巻器)共	9		1	3					1	4	
多目的便器(ロータンク)	C1200S	CS597BCS	SH596BAYR(洗浄タンク), TCF5840P(洗浄便座・擬音装置付) HE35JR, THE24, HM10J, TCA88, YH702(棚付二連紙巻器)共	BC-P20SM	DT-PA250CH(洗浄タンク), CW-PC12-NECK-UR(洗浄便座・擬音装置付 1φ100V1300W) CF-008-1, CF-63HST(棚付二連紙巻器)共	1				1						
壁掛小便器	-	UFS900R	自動洗浄式, センサー付フラッシュバルブ一体形, 低リップ, (1φ100V 0.5W以下) 器具固定樹脂プラグ共	U-A51AP	自動洗浄式, センサー付フラッシュバルブ一体形, 低リップ, (1φ100V 4W以下) 器具固定金具共	4		2						2		
洗面器(はめ込み式) (あふれ面 H=750mm)	-	L350CM	TENA41A(自動水栓 1φ100V 0.6W), T7PW1(壁排水金具) 器具固定金具共	L-2150CL	AM-200V1(自動水栓 1φ100V 1.4W), LF-281PAU(壁排水金具) 器具固定金具共	4		1	1					1	1	
洗面カウンター	-	ML45	オニックス ブラケット架台共・一方エプロン・L= 840 洗面器1個用	MB-450M	シークレスト ブラケット架台共・一方エプロン・L= 840 洗面器1個用	1		1								
洗面カウンター	-	ML45	オニックス ブラケット架台共・二方エプロン・L= 840 洗面器1個用	MB-450M	シークレスト ブラケット架台共・二方エプロン・L= 840 洗面器1個用	1			1							
洗面カウンター	-	ML45	オニックス ブラケット架台共・一方エプロン・L= 730 洗面器1個用	MB-450M	シークレスト ブラケット架台共・一方エプロン・L= 730 洗面器1個用	2								1	1	
洗面器(カウンター一体形) (あふれ面 H=750mm)	-	L270CM	TEN77G1(自動水栓 1φ100V 0.6W), TS126AR(水石けん入れ), T7PW1(壁排水金具) TL220D, 器具固定樹脂プラグ共	L-275AN	AM-211CV1(自動水栓 1φ100V 1.4W), KF-24F(水石けん入れ), LF-105PA(壁排水金具) SF-10E, KF-300M, 器具固定金具共	1				1						
手洗器	-	LSE570AP	自動水栓セット(1φ100V 0.6W)	AWL-71U2AM(P)(100V)	自動水栓セット(1φ100V 1.4W)	1				1						
オストメイトパック	-	UAS81RDB2	トイレパック(電気温水器付1φ100V 600W), UTR138Y	PTOM-A210TRW	トイレパック(電気温水器付1φ100V 700W), PTOM-DSCR	1				1						
ペーパーシート	-	YKA25R	YPH62018W2R, T110D28, 器具固定樹脂プラグ共	AC-OK-21F	KF-D17(1P), 器具固定金具共	1				1						
ペーパーチェア	-	YKA15R	YPH62017W2, T110D28, 器具固定樹脂プラグ共	KFA-12	KF-D17(1P), 器具固定金具共	1				1						
流し類	-	(建築工事)	連合流し(L=1900), ミニキッチンユニット(L=1200)	(建築工事)	連合流し(L=1900), ミニキッチンユニット(L=1200)	(4)	(1)				(1)	(1)				(1)
自在水栓	-	T130AUN13C	壁付自在水栓(スパウト170mm・泡まつ式)	LF-12F-13	壁付自在水栓(スパウト170mm・泡まつ式)	3								3		
化粧鏡	-	YM4560AF	450×600(耐食鏡)	KF-4560AE	450×600(耐食鏡)	4		1	1					1	1	
化粧鏡(アーチ型)	-	YM4510FA	450×1000(耐食鏡、アーチ型)	KF-W450H1000AH	450×1000(耐食鏡、アーチ型)	1				1						
L型手すり	-	T112CL10	700×700, 前出寸法120 T110D3R×3	KF-920AE70D12	700×700, 前出寸法120 AY-55FN, 器具固定金具共	4		1	1					1	1	
L型手すり	-	T112CL11	800×800, 前出寸法230 T110D3R×3	KF-926AE80D25	800×800, 前出寸法250 AY-55FN, 器具固定金具共	1				1						
跳ね上げ手すり	-	T112HPL7S	紙巻器付 L=700, T110D17S	該当品なし		1				1						
小便器用手すり	-	T112CU2	T110D3R×4	KF-701AE	AY-55FN, 器具固定金具共	2		1						1		
背もたれ	-	EWC385CS	ソフトタイプ T110D3R×2	KFC-271T1U2	ソフトタイプ A-3721	1				1						
散水栓	-	T28UNH13	B-3ボックス(固定金具付)共	LF-33-13-CV	キー式, B-3ボックス(固定金具付)共	2										2

原図: A2

給排水衛生設備工事関連 共通事項

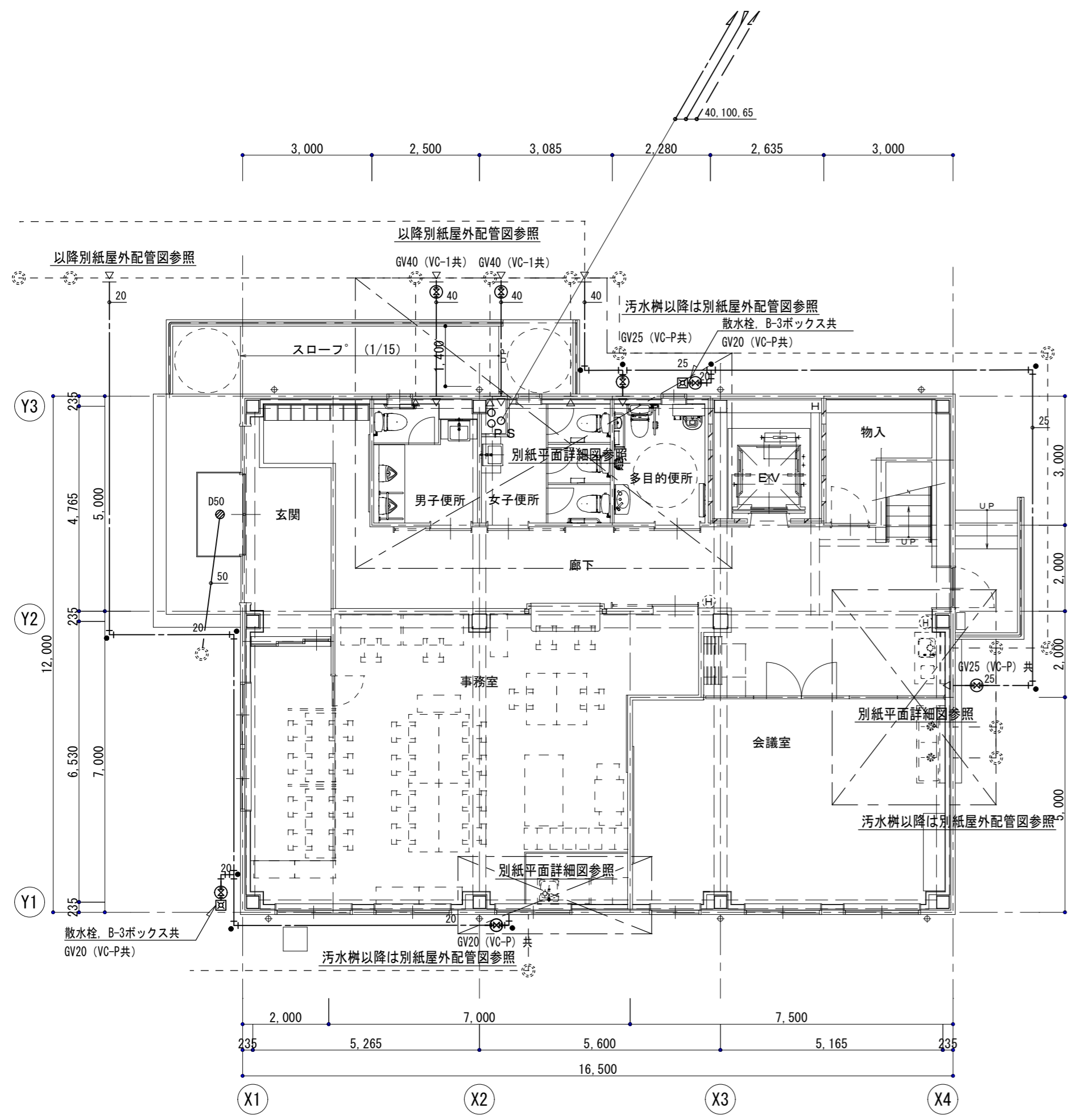
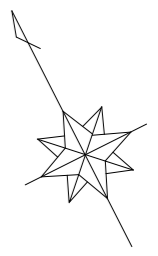
- 本工事は建築基準法及び同施行令（以下、『令』と称する）に基づいて施行する。本工事における各建築設備は、構造耐力上安全なものとして国土交通大臣が定めた構造方法により設置施行すること。（令129条2の4）
- 建築設備の支持構造部及び緊結金物で腐食の恐れのある部分には平12建告1388号第1に従い防腐措置を講じること（令129条の2の5の1号）
- 各給湯設備の固定方法については、平成12年建告1388号（改正平成24年国土交通省告示第1447号）に定める規定に基づく固定方法によるものとする。
- 配管設備の構造は平12建告1388号第4の規定に従う（令129条の2の5の2号）
- 配管・風道が令112条15項に規定する防火区画及び令114条に規定する界壁、防火上主要な間仕切壁または隔壁を貫通する場合には、モルタルまたはロックウールを充填すること（令112条16項、昭48建告2565号、昭49建告1579号、12建告1376、1377号）
- 排水の為の配管設備の構造は令129条の2の5の3項一号の規定に従う。
- 飲料水の配管設備は令129条の2の5の2項一号、二号、三号、1390号の規定に従う。
- 給水装置については水道法施行令5条、給水装置の構造及び材質に関する省令の規定に従う（水道法16条、給水装置の構造及び材質に関する省令）
- 排水設備の構造は下水道法10条3項及び同法施行令8条の規定に従う。
- 排水トラップの構造は令129条の2の5の3項二号、五号、1597号の規定に従う。
- 排水管の勾配は、管径65φ以下は1/50、75φ・100φを1/100管径125φ以上を1/150を基準とする。
- 排水管の管径は、それに接続する器具の排水負荷単位をを基準として決定する。



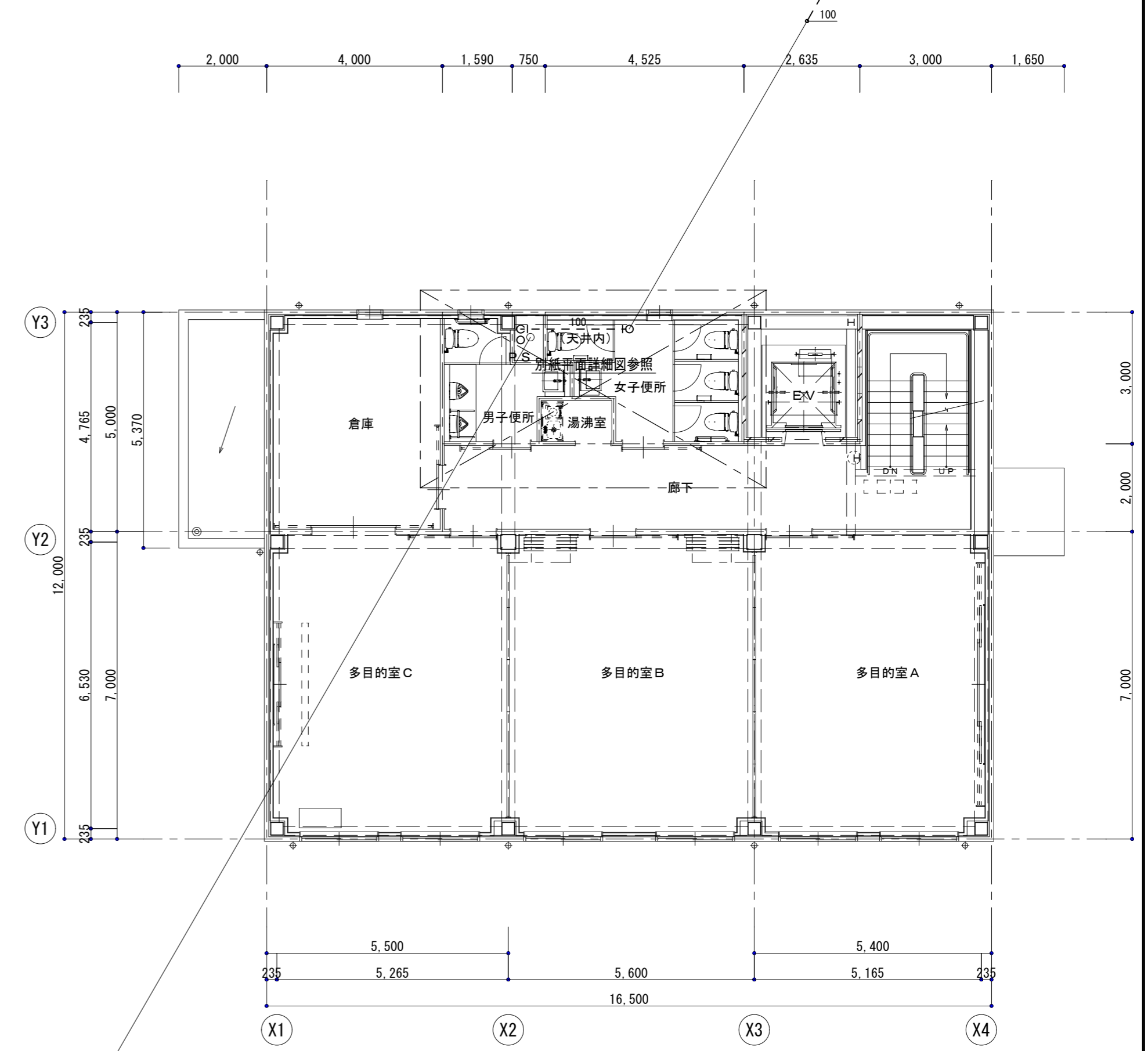
給排水配管系統図

原図：A2

株式会社 市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第109957号 井上 元成 二級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号	年月日縮尺 A2 -	工事名 津市一身田公民館機械設備工事	図名 給排水配管系統図	NO. M-06 / 17
----------------	--	--	------	------------	--------------------	-------------	---------------



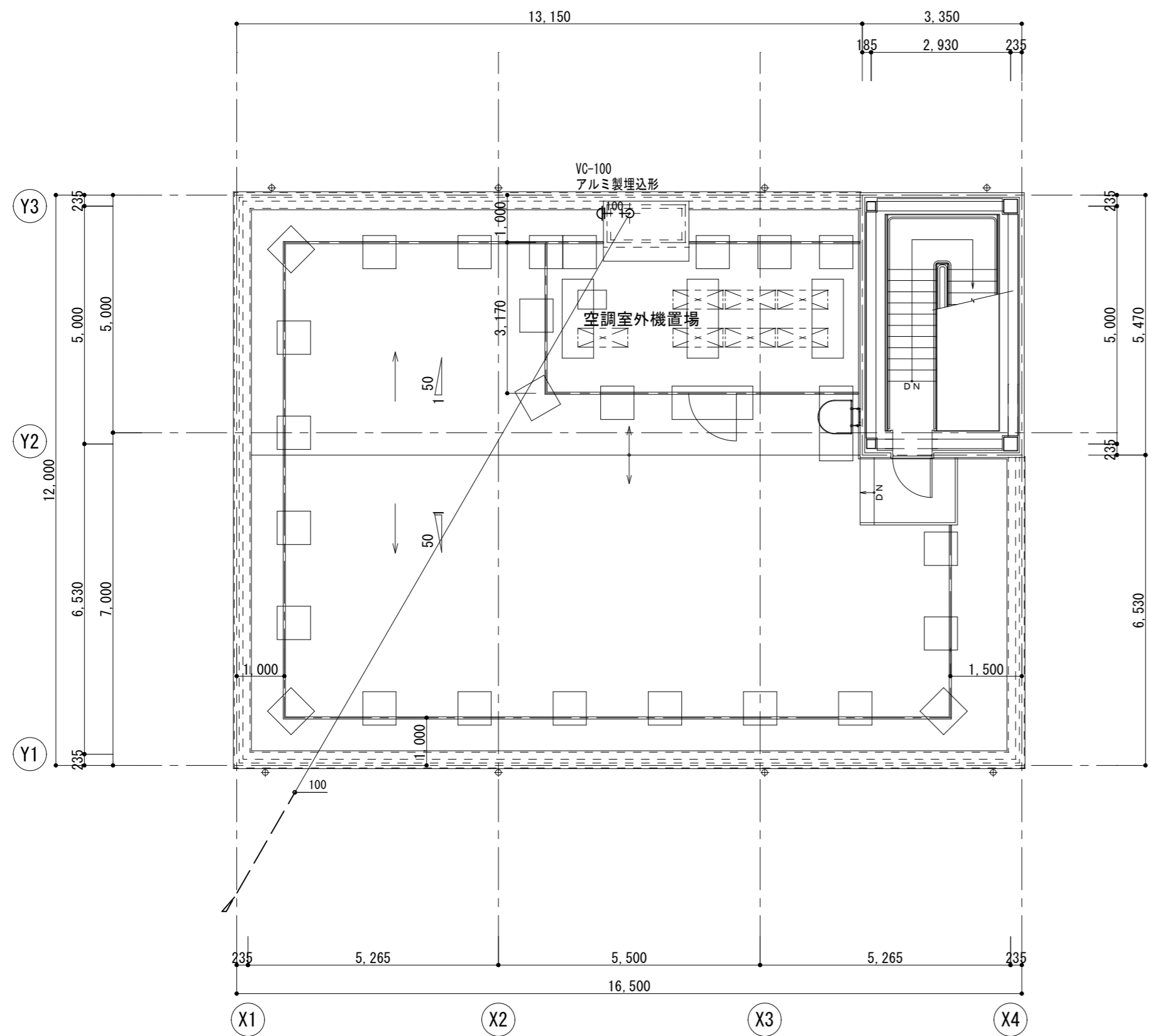
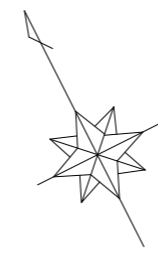
1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

原図：A2

株式会社 市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 第109957号 井上 元成 一級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号 年月日縮尺 A2 1/100	工事名 津市一身田公民館機械設備工事	図名 給排水設備 1、2階平面図	NO. M-07 / 17
----------------	---	---	------------------------	--------------------	------------------	---------------



R階平面図 1/100

原図：A2

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

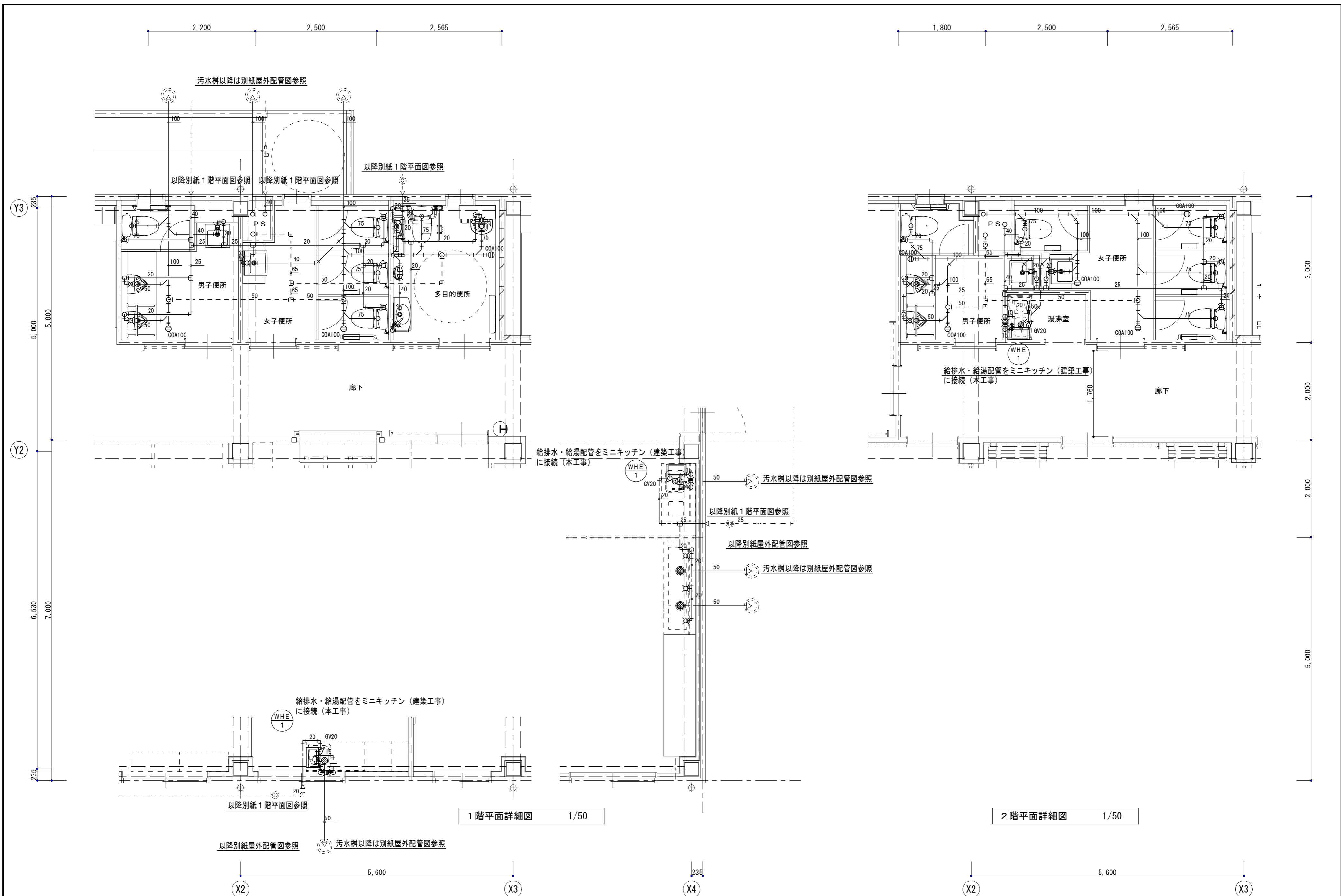
設計 一級建築士 第109957号 井上 元成
 一級建築士 第302310号 山田 兼之

整理番号 年月日縮尺
 A 2A2 1/100

工事名 津市一身田公民館機械設備工事

図名 給排水設備 R階平面図

NO. M-08 / 17



1階平面詳細図 1/50

2階平面詳細図 1/50

原図：A2

株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第109957号 井上 元成 一級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号 年月日縮尺 A2 1/50	工事名 津市一身田公民館機械設備工事	図名 給排水設備 平面詳細図	NO. M-09 / 17

空調機器表

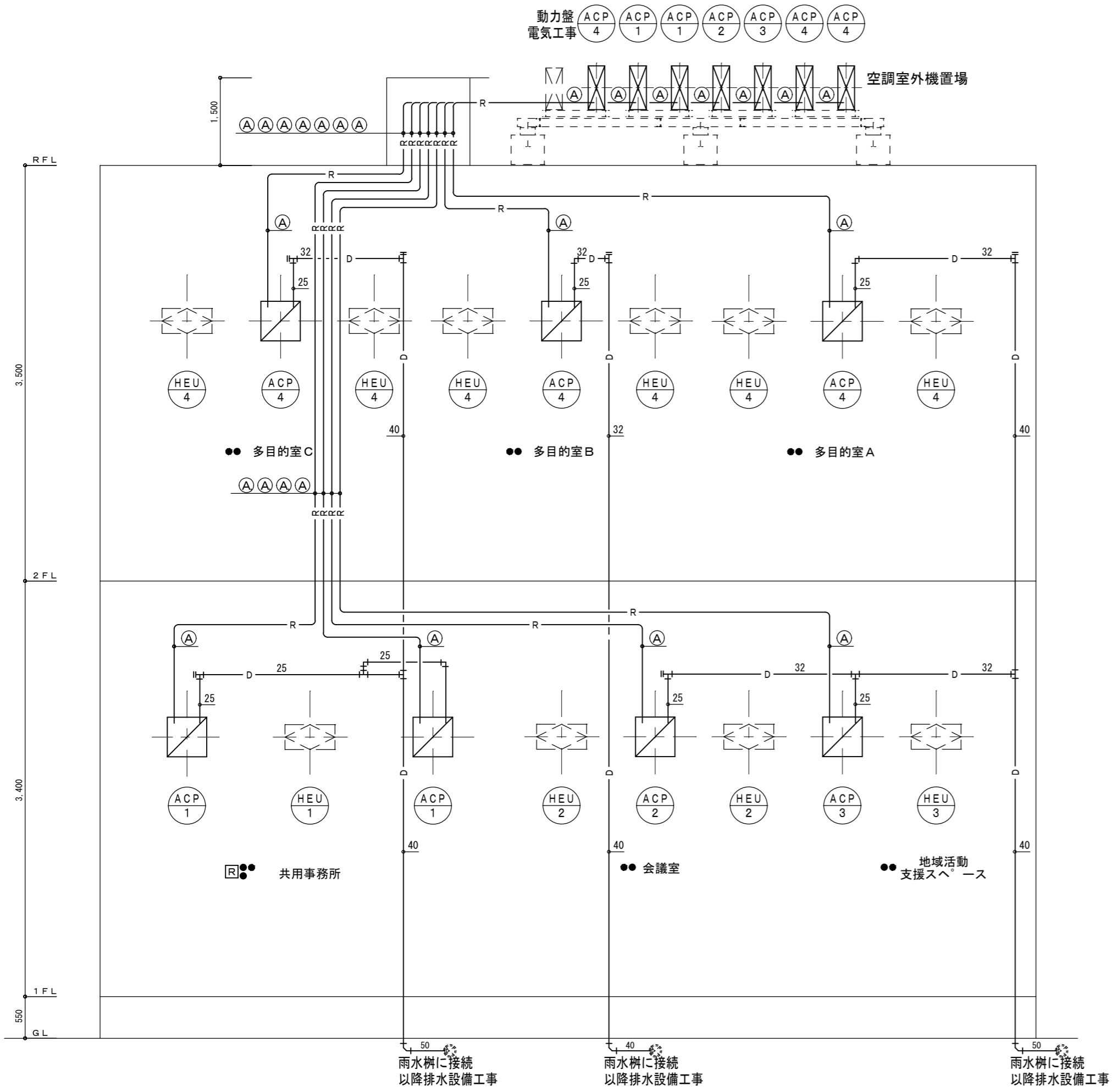
記号	名称	仕様	数量	電気仕様	備考
ACP-1	空冷ヒートポンプ式Vカセット I7コン (高効率形)	形式: 天井埋込みカセット形 ワイヤードリモコン 電気仕様: 圧縮機(外) 1.6 kW 付属品: リモコン, 集中管理接続用アダプター	2	3φ200V 8.09kW	共用事務所 鋼製架台、防振工機-建築工事 コンクリート基礎-建築工事
ACP-2	空冷ヒートポンプ式Vカセット I7コン (高効率形)	形式: 天井埋込みカセット形 ワイヤードリモコン 電気仕様: 圧縮機(外) 2.1 kW 付属品: リモコン, 集中管理接続用アダプター	1	3φ200V 3.80kW	会議室 鋼製架台、防振工機-建築工事 コンクリート基礎-建築工事
ACP-3	空冷ヒートポンプ式Vカセット I7コン (高効率形)	形式: 天井埋込みカセット形 ワイヤードリモコン 電気仕様: 圧縮機(外) 2.1 kW 付属品: リモコン, 集中管理接続用アダプター	1	3φ200V 2.47kW	EV前ロビー 鋼製架台、防振工機-建築工事 コンクリート基礎-建築工事
ACP-4	空冷ヒートポンプ式Vカセット I7コン (高効率形)	形式: 天井埋込みカセット形 ワイヤードリモコン 電気仕様: 圧縮機(外) 2.8 kW 付属品: リモコン, 集中管理接続用アダプター	3	3φ200V 0.81kW	多目的室A・B・C 鋼製架台、防振工機-建築工事 コンクリート基礎-建築工事
	集中管理リモコン	形式: システムリモコン 操作機能: 各室内機の運転・停止・設定変更・スケジュール運転の機能	1	1φ200V	共用事務室
HEU-1	全熱交換器ユニット	形式: 天井埋込みカセット形 24時間運転: 150φ×60m ² /h×10Pa×39W 熱交換効率: 60%以上 付属品: リモコン(24時間換気対応) 給排気フード175φ(OA:防虫網, EA:ガラリ)	1	1φ200V 195W	共用事務室 フードは指定色塗装仕上げ
HEU-2	全熱交換器ユニット	形式: 天井埋込みカセット形 24時間運転: 150φ×60m ² /h×10Pa×39W 熱交換効率: 60%以上 付属品: リモコン(24時間換気対応) 給排気フード175φ(OA:防虫網, EA:ガラリ)	2	1φ200V 195W	会議室 フードは指定色塗装仕上げ
HEU-3	全熱交換器ユニット	形式: 天井埋込みカセット形 24時間運転: 150φ×60m ² /h×10Pa×39W 熱交換効率: 60%以上 付属品: リモコン(24時間換気対応) 給排気フード175φ(OA:防虫網, EA:ガラリ)	1	1φ200V 249W	地域活動支援スペース フードは指定色塗装仕上げ
HEU-4	全熱交換器ユニット	形式: 天井埋込みカセット形 24時間運転: 150φ×40m ² /h×10Pa×39W 熱交換効率: 60%以上 付属品: リモコン(24時間換気対応) 給排気フード175φ(OA:防虫網, EA:ガラリ)	6	1φ200V 195W	多目的室A・B・C フードは指定色塗装仕上げ
※ 運転特性、能力はJIS条件による。 ※ 空調機は省エネタイプを仕様すること。 ※ 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。 ※ リモコン配線共本工事とする。 ※ 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上下工事とする。 ※ 機器は同等品以上とする。 ※ 全熱交換ユニット・天井埋込形換気扇の附属給排気フードのサイズは平面図参照とする。 ※ FE-4・5・6は運転表示ランプ付スイッチ(電気工事)による発停とする。		※ 電源容量値は参考とする。 ※ 空調機トップランナー基準改定仕様とする。 ※ 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 ※ 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 ※ アンカーはケミカルアンカー仕様。 ※ 室外機は(SUS製ボルトにて固定、ワナットにて締付けの事。) ※ リモコン及び24時間換気用コントロールスイッチは本工事とする。 ※ FE-1・2・3・7・8・9は人感センサー(電気工事)による発停とする。			

記号	名称	仕様	数量	電気仕様	備考
FE-1	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード150φ(ガラリ)	1	1φ100V 29.5W	1階 男子便所 フードは指定色塗装仕上げ
FE-2	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード150φ(ガラリ)	1	1φ100V 29.5W	1階 女子便所 フードは指定色塗装仕上げ
FE-3	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード150φ(ガラリ)	1	1φ100V 29.5W	1階 多目的便所 フードは指定色塗装仕上げ
FE-4	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 金属製格子タイプ 付属品: 排気フード100φ(ガラリ)	1	1φ100V 24W	1階 共用事務所 (流し上部天井面) フードは指定色塗装仕上げ
FE-5	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード175φ(ガラリ)	1	1φ100V 36W	2階 倉庫 フードは指定色塗装仕上げ
FE-6	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 金属製格子タイプ 付属品: 排気フード100φ(ガラリ)	1	1φ100V 24W	2階 湯沸室 フードは指定色塗装仕上げ
FE-7	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード150φ(ガラリ)	1	1φ100V 29.5W	2階 男子便所 フードは指定色塗装仕上げ
FE-8	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード150φ(ガラリ)	1	1φ100V 29.5W	2階 女子便所 フードは指定色塗装仕上げ
FE-9	排気ファン(低騒音形)	形式: 天井埋込形換気扇 金属製(本体) 格子タイプ(樹脂製) 付属品: 排気フード100φ(ガラリ)	1	1φ100V 15.5W	2階 女子便所 フードは指定色塗装仕上げ

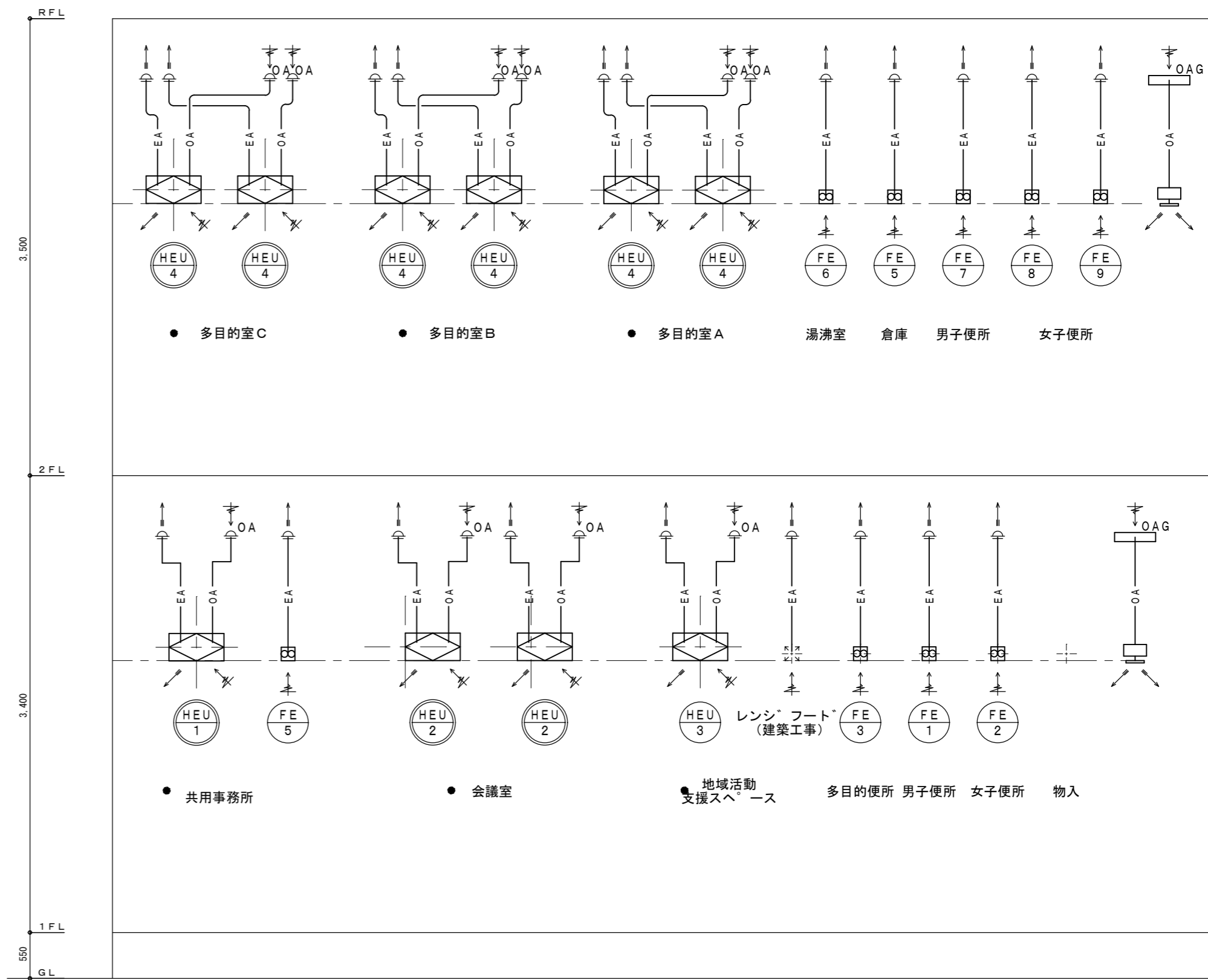
凡例 (空調和設備)					
記号	名称	備考	記号	名称	備考
	冷媒管	断熱材被覆銅管(難燃性)		空調室内機	
	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管		空調室外機	
	ダクト(外気)	亜鉛鉄板 (防露保温施工要)		全熱交換器ユニット	
	ダクト(排気)	亜鉛鉄板		天井埋込形換気扇	
	給排気フード(SUS製)			有圧形換気扇・パイプファン	
	自然給気口(天井) 防火ダンパー			いんべい・天井内(制御ケーブル)	
	2芯リモコンケーブル				
	リモコンスイッチ				
※ 排気ダクトの外壁排気口から1mについては防露保温施工を行うこと。					

冷媒配管リスト (空気熱源ヒートポンプ式パッケージ形空調機)						
記号	液管	×	ガス管	備 考		
(A)	9.5φ	×	15.9φ	EM-EEF	2.0° -3C	内外渡り制御配線は冷媒配管に共巻

- 機械設備工事関連 共通事項
- 建築設備の支持構造部及び緊結金物で腐食の恐れのある部分には平12建告1388号第1に従い防腐措置を講じること (令129条の2の5の1号)
 - 屋上から突出する水槽・煙突・冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部分又は建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
 - 屋内の天井内等に (天井吊支持) 設置される機器は形鋼又は吊ボルト等を斜材とした振止め支持を行い耐震支持措置をすること。
 - 配管設備の構造は平12建告1388号第4の規定に従う (令129条の2の5の2号)
 - 配管・風道が令112条15項に規定する防火区画及び令114条に規定する界壁、防火上主要な間仕切壁または隔壁を貫通する場合には、モルタルまたはロックウールを充填すること (令112条16項、昭48建告2565号、昭49建告1579号、平12建告1376、1377号)
 - 火を使用する設備またはその使用に際し火災の発生の恐れのある設備の位置、構造は火災予防条例の規定に従う (消防法9条)
 - 排水の為の配管設備の構造は令129条の2の5の3項1号の規定に従う。



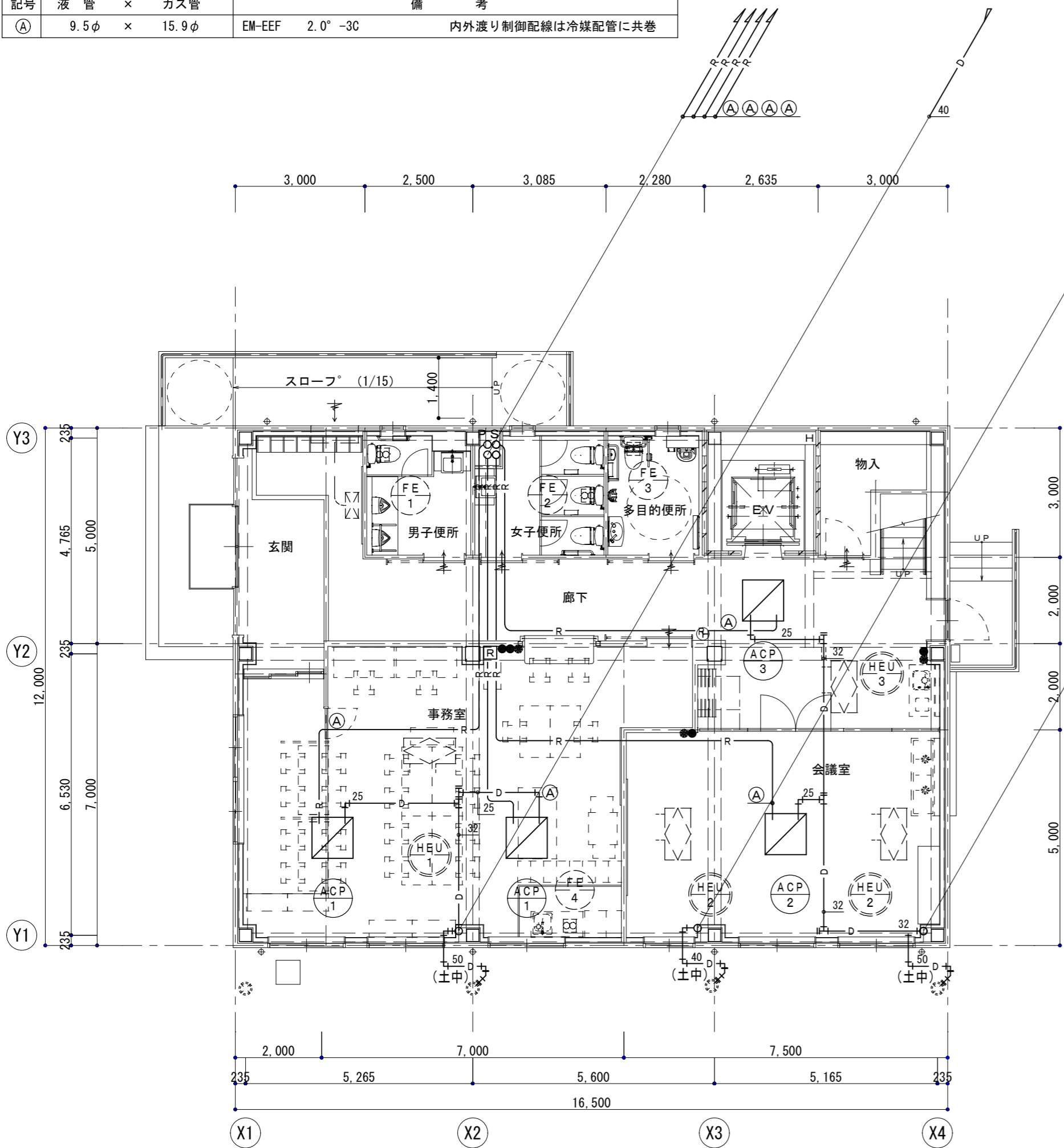
空調配管系統図



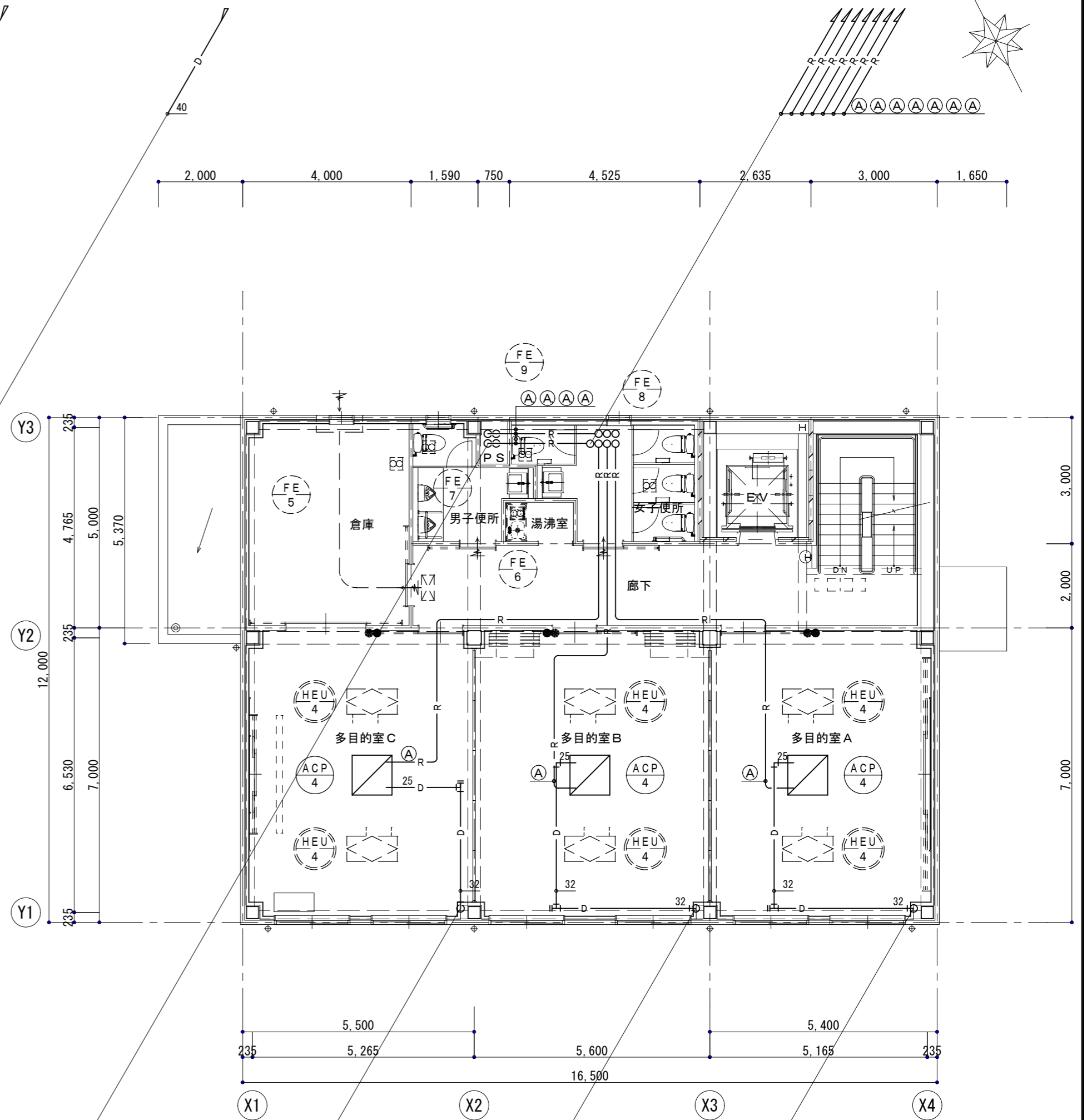
換気ダクト系統図

原図: A2

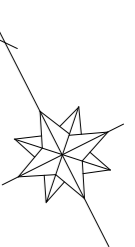
冷媒配管リスト (空気熱源ヒートポンプ式パッケージ形空調機)				
記号	液管	×	ガス管	備 考
(A)	9.5φ	×	15.9φ	EM-EEF 2.0° -3C 内外渡り制御線は冷媒配管に共巻



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



原図: A2

外気取入ガラリ

OA Q=875m ³ /h	(外気取入)
外壁ガラリ (建築工事)	(1)
ガラリチャンパ - (1100×400×300H)	1

※ガラリチャンパ-及び長方形ダクト接続は本工事

外気取入グリル

① 玄関 (外気取入)	
OA Q=875m ³ /h	
VS 500×250H (フィルター付)	
ホッパス (650×400×300H)	1
予備フィルター (500×250)	

※ホッパスは消音内張り25t(32K)のこと

外気取入ガラリ

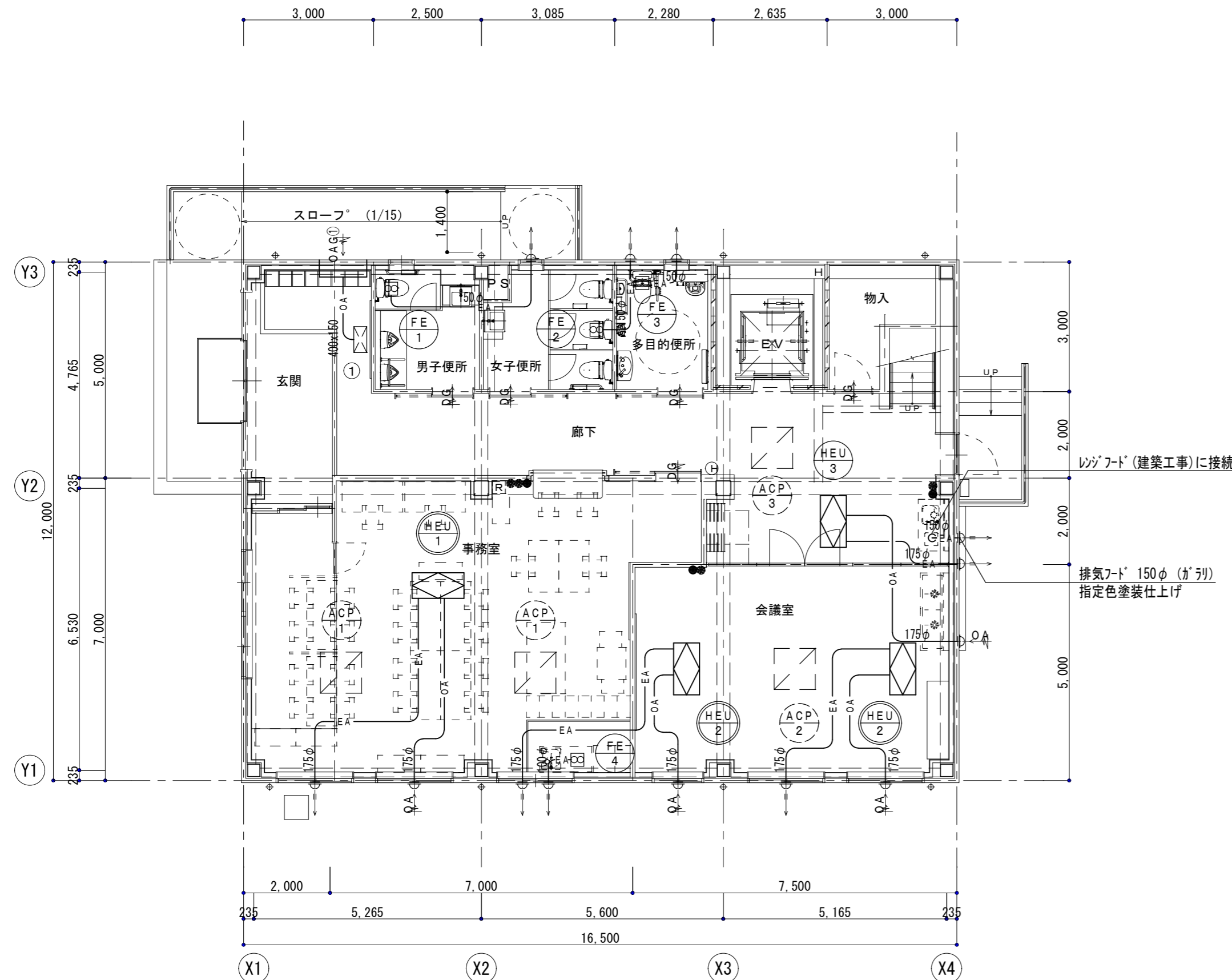
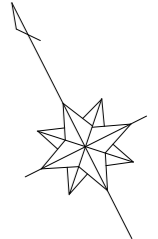
OA Q=875m ³ /h	(外気取入)
外壁ガラリ (建築工事)	(1)
ガラリチャンパ - (1100×400×230H)	1

※ガラリチャンパ-及び長方形ダクト接続は本工事

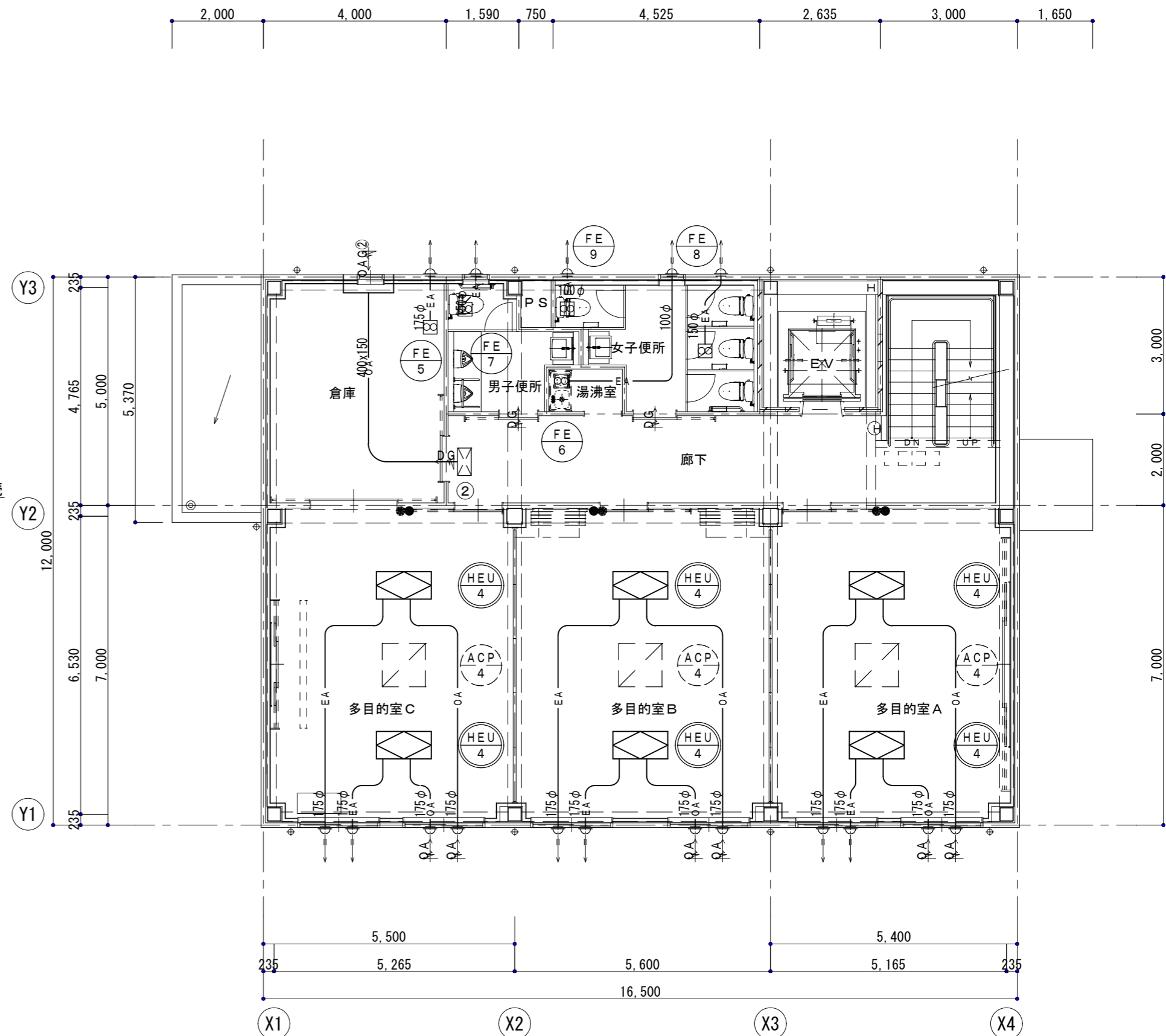
外気取入グリル

② 廊下 (外気取入)	
OA Q=875m ³ /h	
VS 500×250H (フィルター付)	
ホッパス (650×400×300H)	1
予備フィルター (500×250)	

※ホッパスは消音内張り25t(32K)のこと



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

換気設備計算

シックハウス対策に係る換気計算

必要有効換気量 $Vr = n \cdot A \cdot h$												
階	室名称	床面積 A (m ²)	天井高 h (m)	室容積 (m ³)	換気回数 n	必要換気量 (m ³ /h)	比較	24時間換気量 (m ³ /h)	機器記号		判定	
1階	共用事務所	64.83	2.40	155.60	0.3	46.68		60	HEU- 1	x 1	∴ OK	
	合計 共用事務所系統	64.83		155.60		46.68	<	60				
	会議室	37.50	2.40	90.00	0.3	27.00		120	HEU- 2	x 2		
	合計 会議室系統	37.50		90.00		27.00	<	120				
1・2階	以下24時間機械換気設備設置対象外											
共用部	1階	(EV前ロビー)	19.89	2.40	47.74	不要	-		60	HEU- 3	x 1	
		玄関	19.47	2.40	46.73	不要	-		-			
		廊下	20.40	2.40	48.96	不要	-		-			
		階段室(物入含む)	9.00	3.40	30.60	不要	-		-			
	2階	廊下	19.00	2.40	45.60	不要	-		-			
		階段室	15.00	3.35	50.25	不要	-		-			
		階段室	18.47	3.05	56.34	不要	-		-			
		合計 系統①	118.44		319.52	不要	-		-			
	(非居室等)	以下24時間機械換気設備設置対象外										
	※	多目的便所	6.84	2.40	16.42	不要	-		-			
男子便所		7.50	2.40	18.00	不要	-		-				
女子便所		8.67	2.40	20.81	不要	-		-				
EVシャフト		7.91	3.40	26.90	不要	-		-				
2階												
多目的室	多目的室A	37.80	2.70	102.06	0.3	30.62		80	HEU- 4	x 2	∴ OK	
	合計 多目的室A系統	37.80		102.06		30.62	<	80				
	多目的室B	39.20	2.70	105.84	0.3	31.76		80	HEU- 4	x 2	∴ OK	
	合計 多目的室B系統	39.20		105.84		31.76	<	80				
	多目的室C	38.50	2.70	103.95	0.3	31.19		80	HEU- 4	x 2		
合計 多目的室C系統	38.50		103.95		31.19	<	80					
(非居室等)	以下24時間機械換気設備設置対象外											
※	倉庫	20.00	2.40	48.00	不要	-		-				
	湯沸室	1.75	2.40	4.20	不要	-		-				
	男子便所	6.51	2.40	15.62	不要	-		-				
	女子便所	11.47	2.40	27.53	不要	-		-				
	EVシャフト	7.91	3.35	26.50	不要	-		-				

給湯設備使用室の換気計算	
<p>共用事務所</p> <p>燃焼機器：無し、 <ミニキッチン> 流し台下電気温水器 電気容量 1.1kW x 1台</p> <p>◇必要換気量 [V] は $V = e \cdot P$ とする $= 30 \times 1.1$ $= 33 [m^3/h]$ < 150 [m³/h] (FE-5)</p>	<p>使用熱源種別：電気給湯器</p> <p>e : 電気式厨房器具の換気係数 m³/kWh 30 m³/kW・h, 電気式の場合</p> <p>P : 電気式厨房器具の電気容量 kW</p>
<p>EV前ロビー</p> <p>燃焼機器：無し、 <ミニキッチン> ;レンジフード付 流し台下電気温水器 電気容量 1.1kW x 1台 IHヒーター 電気容量 1.5kW x 1台</p> <p>◇必要換気量 [V] は $V = e \cdot P$ とする $= 30 \times (1.1 + 1.5)$ $= 78 [m^3/h]$ < 150 [m³/h] (レンジフード：建築工事)</p>	<p>使用熱源種別：電気給湯器, IHヒーター</p> <p>e : 電気式厨房器具の換気係数 m³/kWh 30 m³/kW・h, 電気式の場合</p> <p>P : 電気式厨房器具の電気容量 kW</p>
<p>湯沸室</p> <p>燃焼機器：無し、 <ミニキッチン> 流し台下電気温水器 電気容量 1.1kW x 1台 IHヒーター 電気容量 1.5kW x 1台</p> <p>◇必要換気量 [V] は $V = e \cdot P$ とする $= 30 \times (1.1 + 1.5)$ $= 78 [m^3/h]$ < 150 [m³/h] (FE-7)</p>	<p>使用熱源種別：電気給湯器, IHヒーター</p> <p>e : 電気式厨房器具の換気係数 m³/kWh 30 m³/kW・h, 電気式の場合</p> <p>P : 電気式厨房器具の電気容量 kW</p>

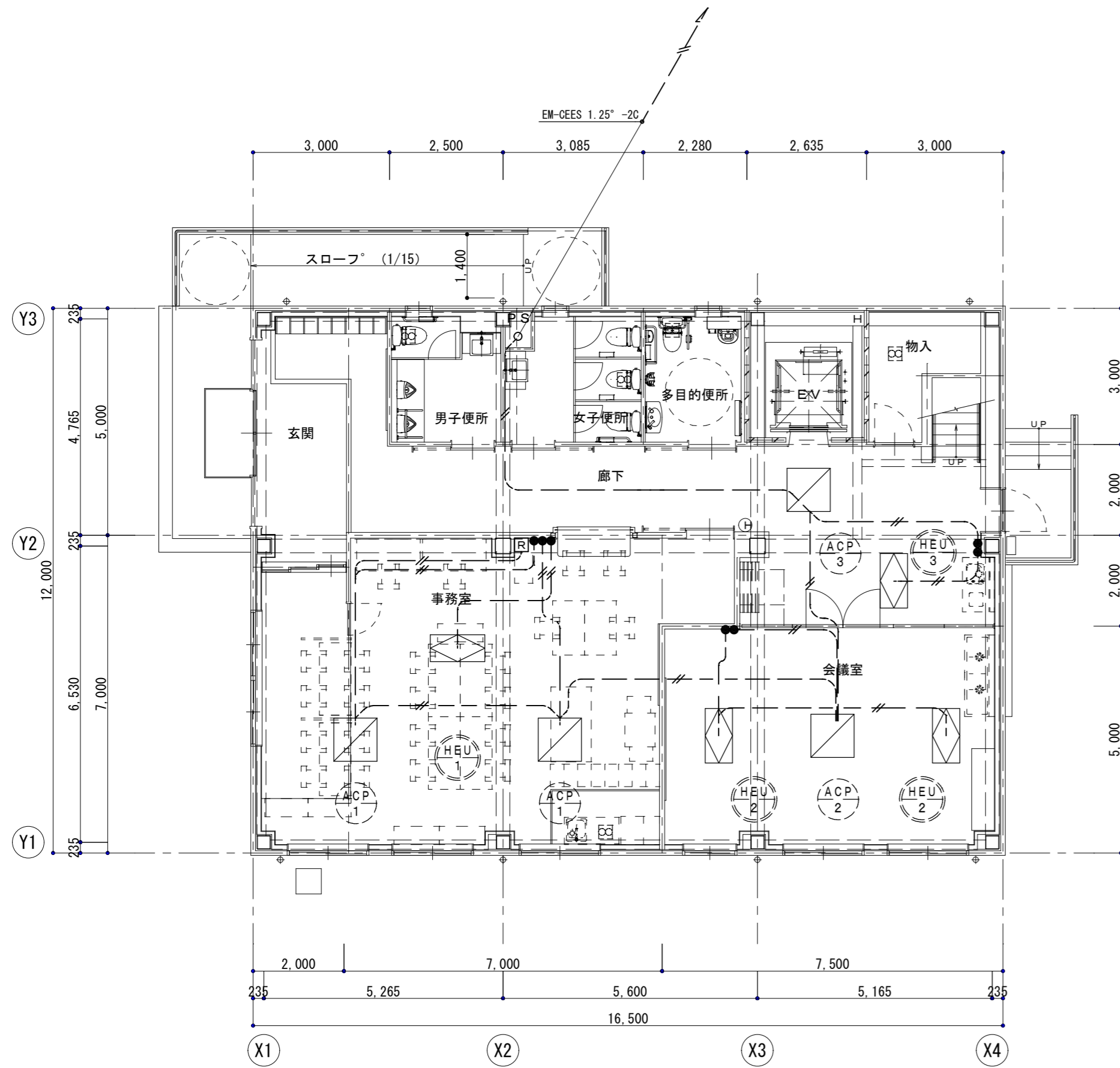
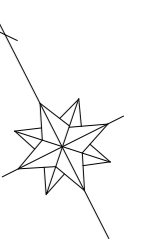
原図：A2

凡 例

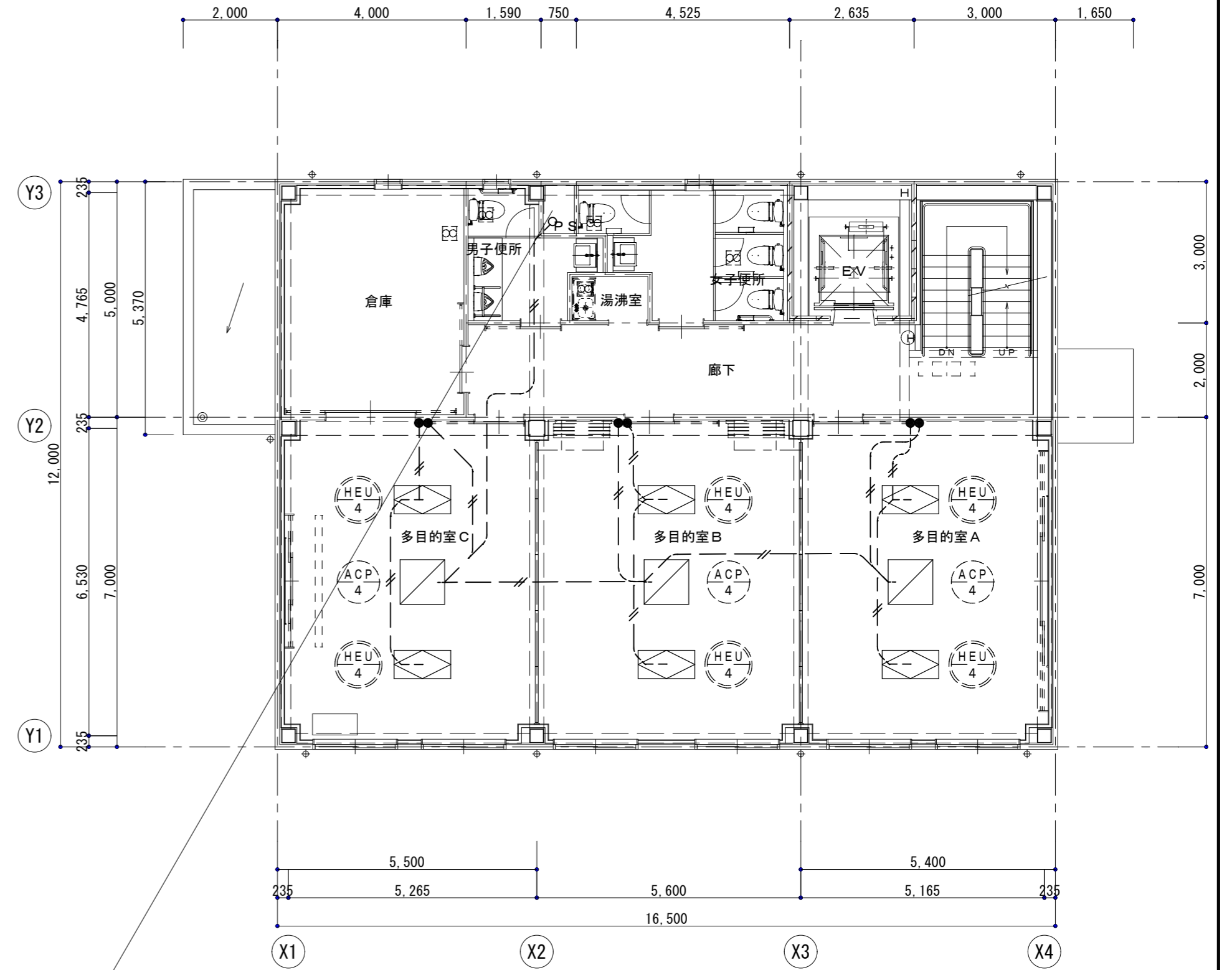
記号	配線	間仕切壁立上	天井内いんべい	室外露出
— / —	EM-CEES 1.25° -2C	PF22	(ころがし)	—
シンボル	記号 (配管配線)			
— — —	隠ぺい部・天井内ケーブルころがし			
●	リモコンスイッチ (アウトレットボックス共)			
Ⓜ	集中管理リモコン (アウトレットボックス共)			

(註記)

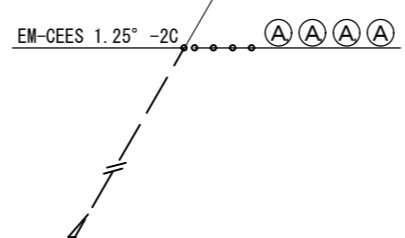
◇ 空調機二次側連絡配線 (信号線/電源線) 及び
リモコン配線・配管工事は本工事とする。



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



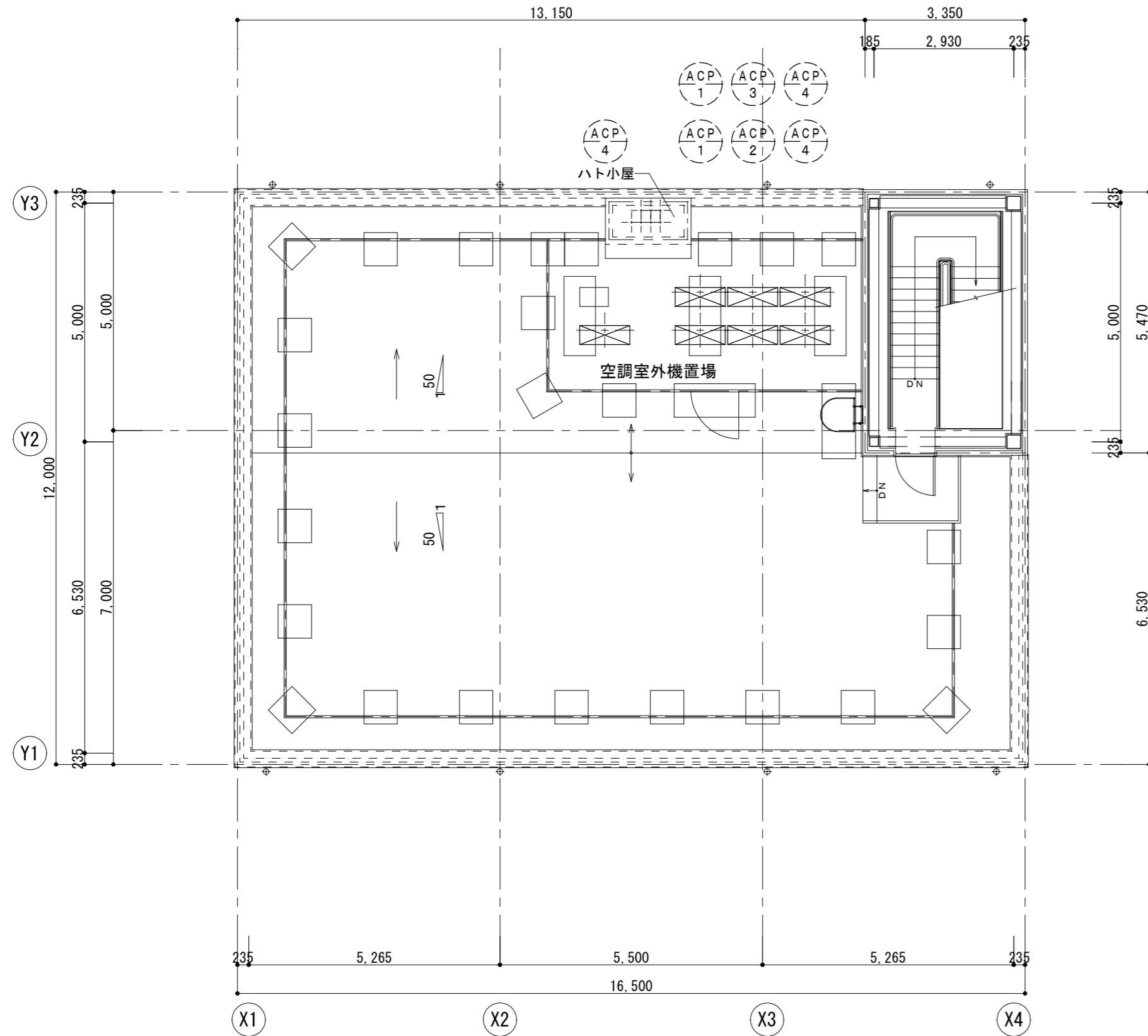
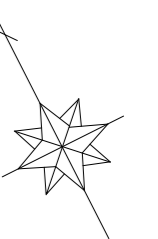
原図: A2

凡 例

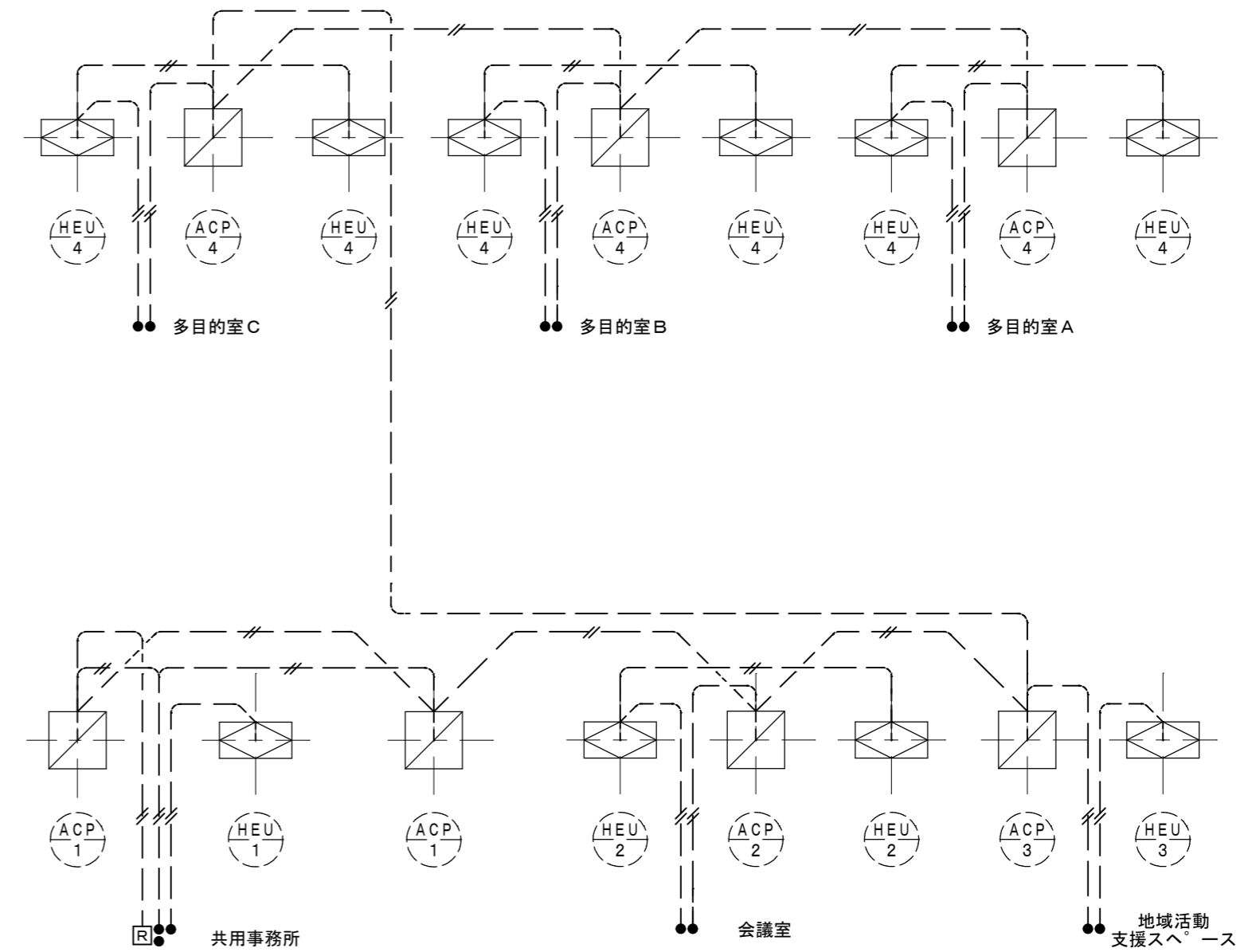
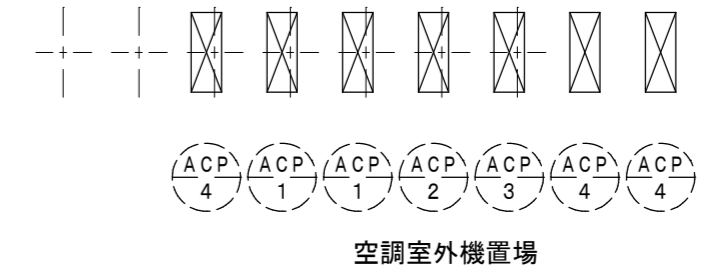
記号	配線	間仕切壁立上	天井内いんべい	室外露出
EM-CEES	1.25°-2C	PF22	(ころがし)	—
シンボル	記号 (配管配線)			
●	隠ぺい部・天井内ケーブルころがし			
●	リモコンスイッチ (アウトレットボックス共)			
Ⓜ	集中管理リモコン (アウトレットボックス共)			

(註記)

- ◇ 空調機二次側連絡配線 (信号線/電源線) 及び
- リモコン配線・配管工事は本工事とする。



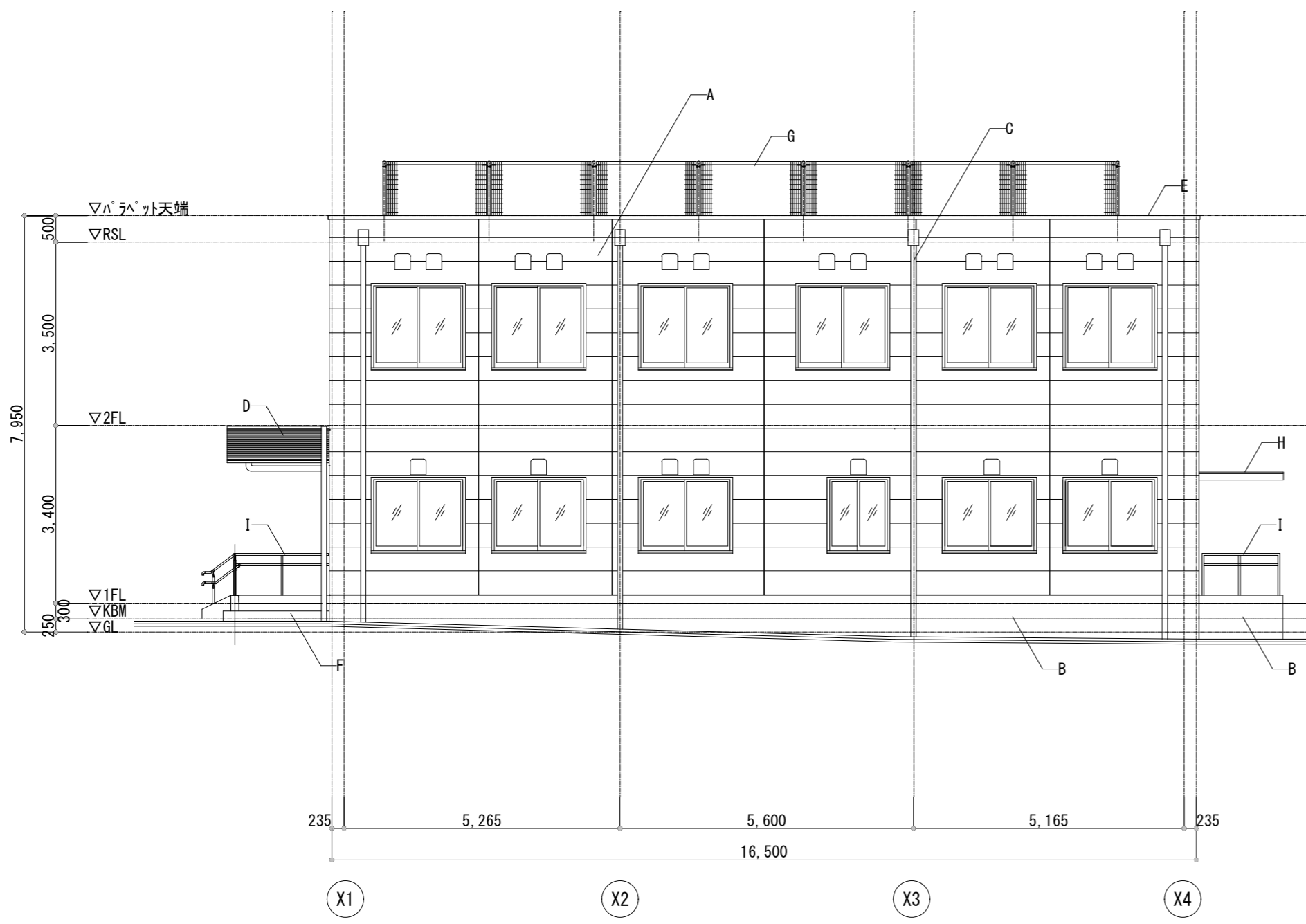
R階平面図 1/100



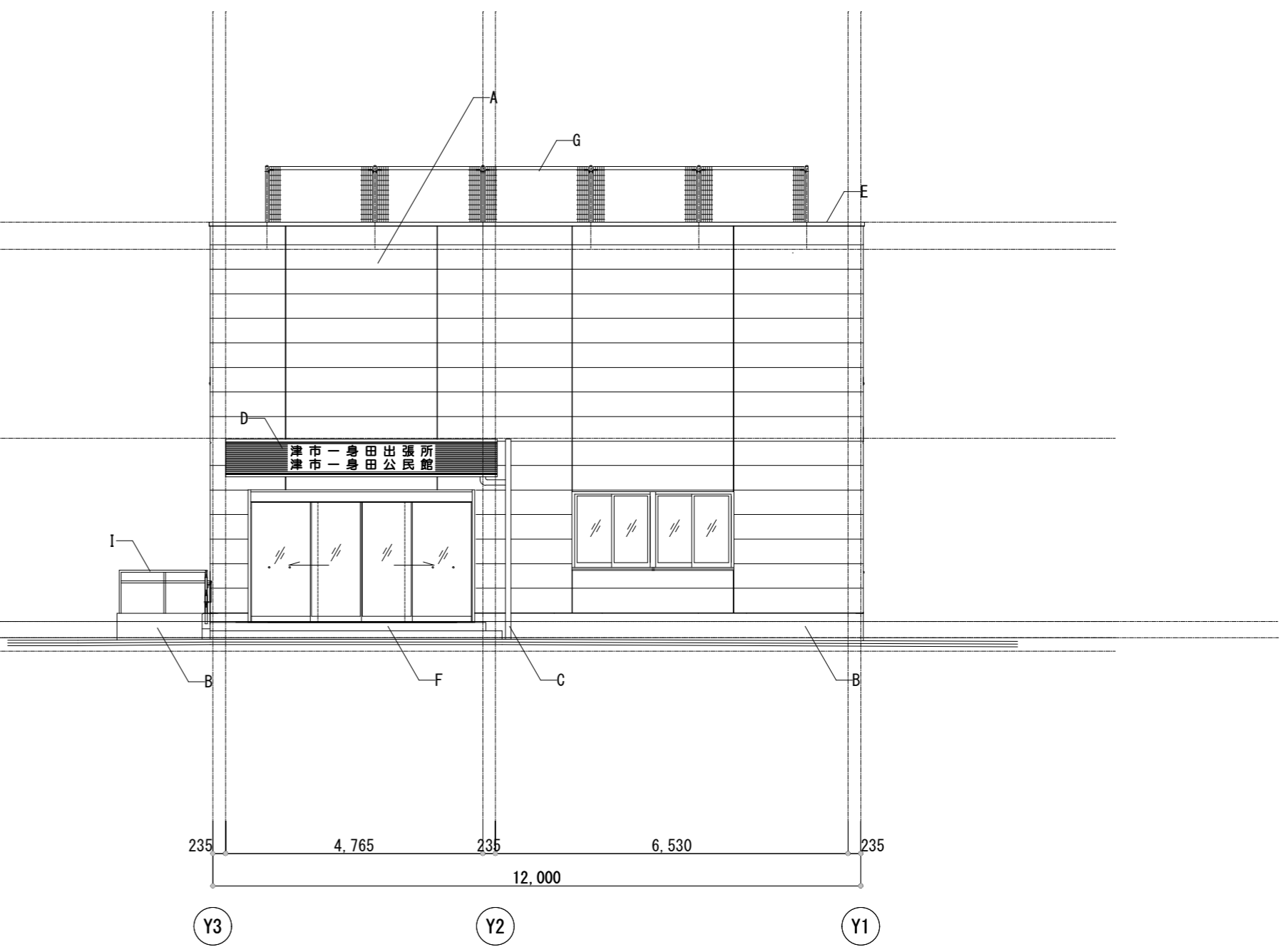
リモコン配線系統図

- 空調機集中管理リモコン 1 個
- 空調機ワイヤードリモコン 7 個
- 全熱交換器リモコン (24時間換気対応) 6 個

仕上凡例	
A	窯業系サイディング 横張り t=16 (通気工法)
B	コンクリート打放し補修
C	カラー硬質ポリ塩化ビニル管 VP100φ 飾り柄、隠み金物共 (玄関扉一子のみスリット製)
D	幕板: アルミハンドレール(t1.0)貼り
E	アルミ並木(既製品) W=400
F	タイル貼
G	メッシュフェンス
H	アルミ庇(既製品)
I	樹脂製2段手摺



南立面図 1/100

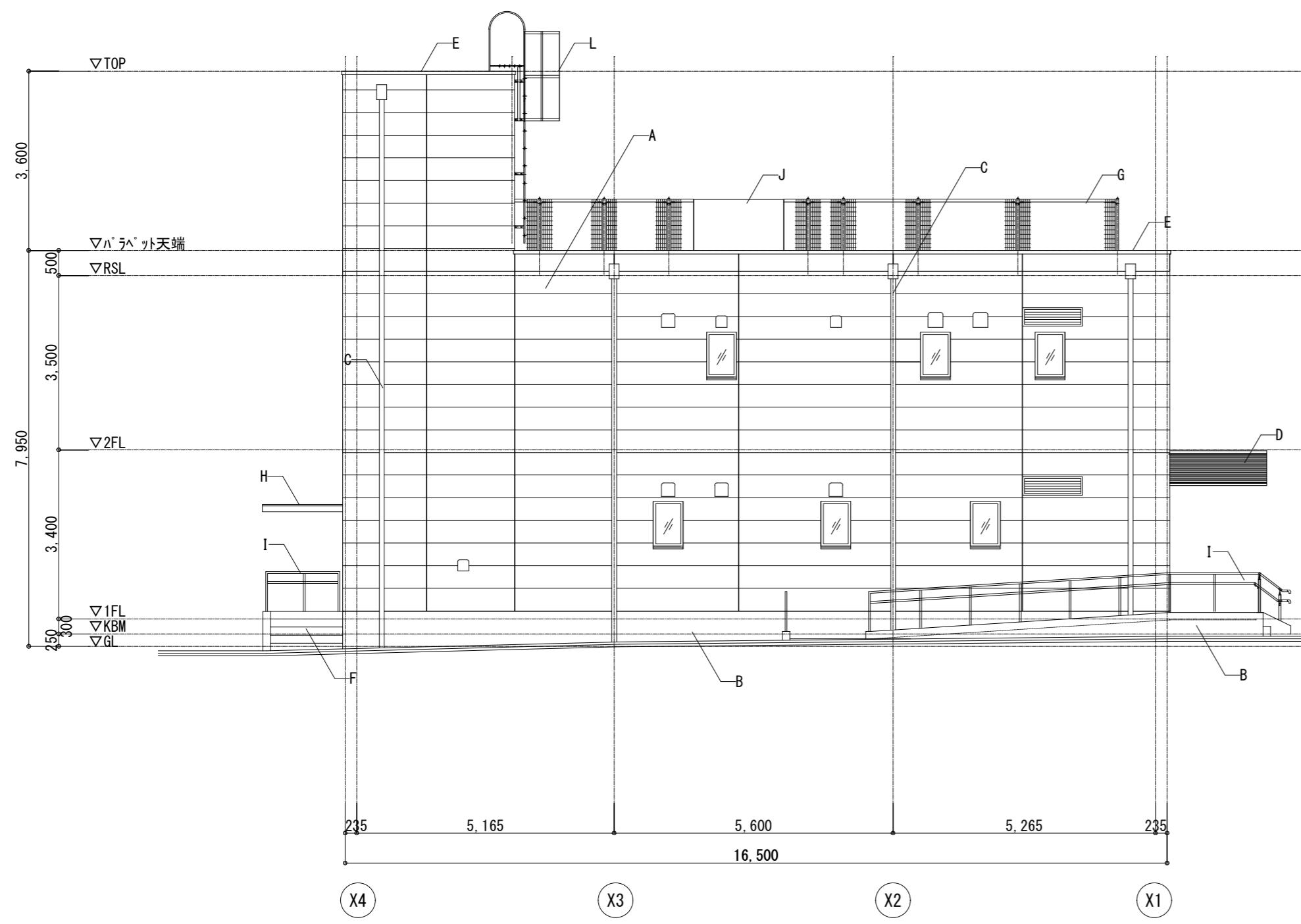


西立面図 1/100

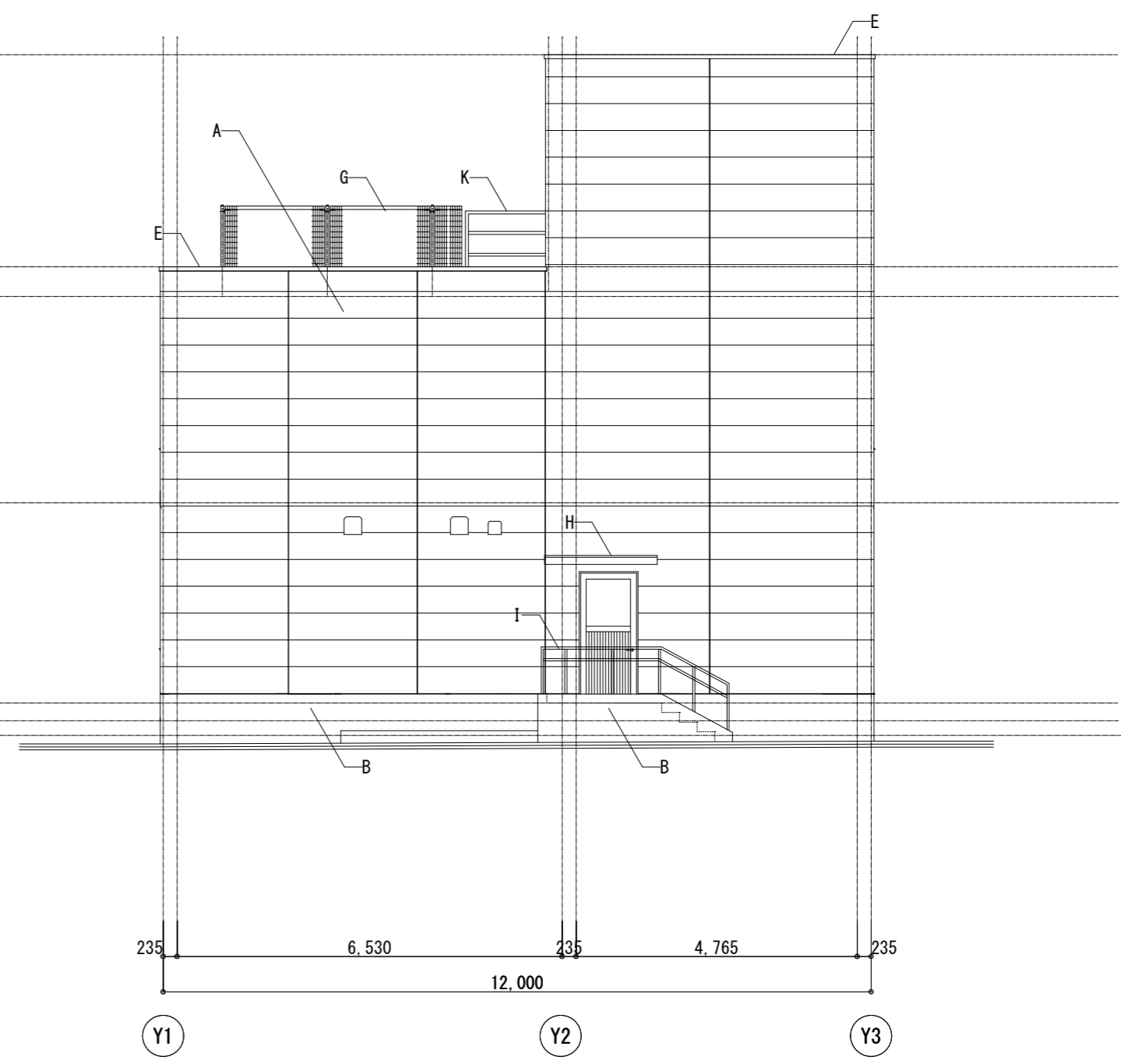
参考

原図: A2

仕上凡例	
A	窯業系サイディング 横張り t=16 (通気工法)
B	コンクリート打放し補修
C	カラー硬質ポリ塩化ビニル管 VP100φ 飾り板、隠み金物共 (玄関扉一子のみステンレス製)
D	幕板: 珪藻土ボード (t=1.0) 貼り
E	珪藻土板 (既製品) W=400
F	タイル貼
G	メッシュフェンス
H	珪藻土 (既製品)
I	樹脂製2段手摺
J	ウレタン塗膜防水
K	SUS製手摺
L	SUS製ラック



北立面図 1/100



東立面図 1/100

参考

原図: A2

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

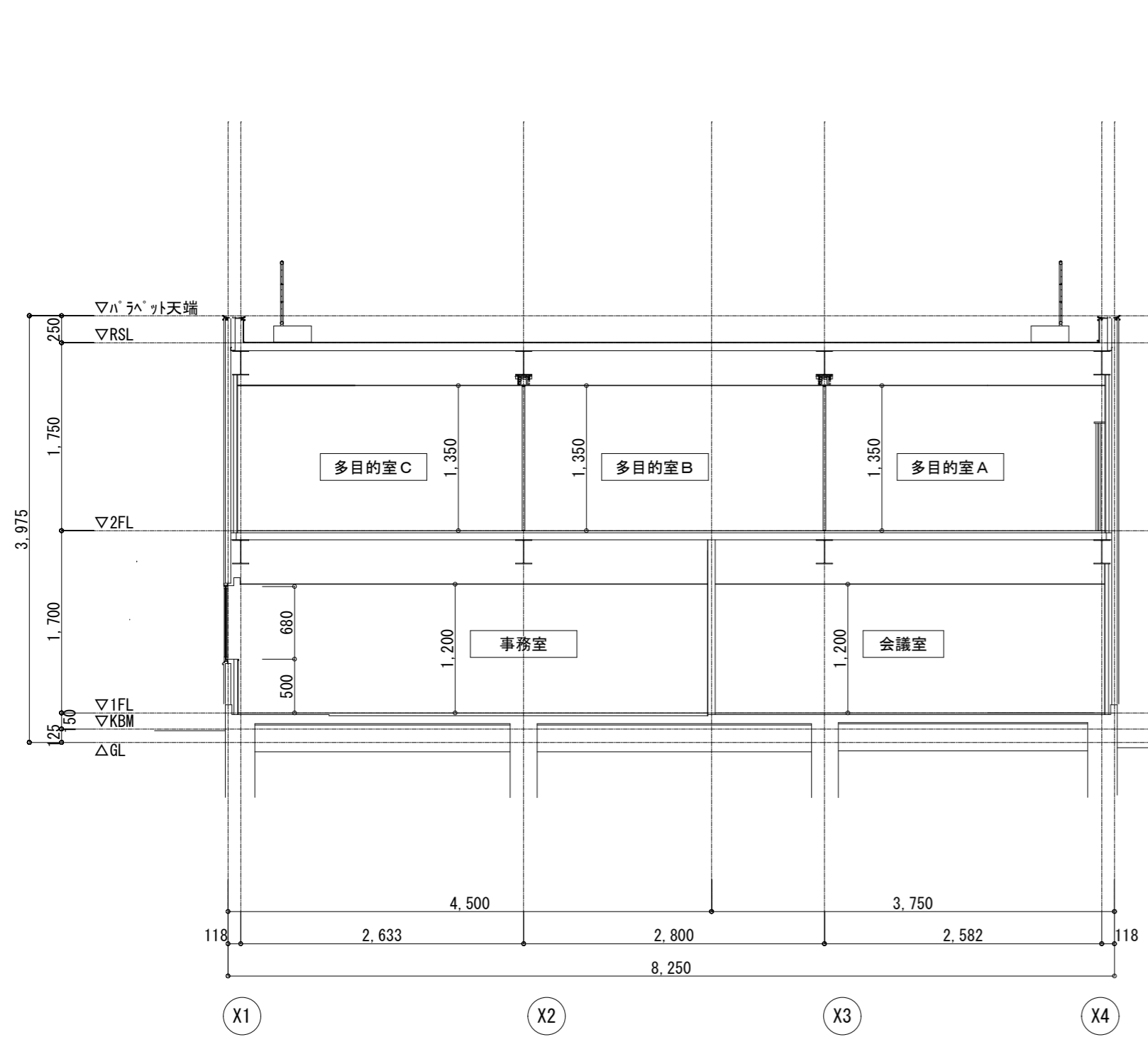
設計 一級建築士 第109957号 井上 元成
 一級建築士 第302310号 山田 兼之

整理番号 年月日 縮尺 A2 1/100

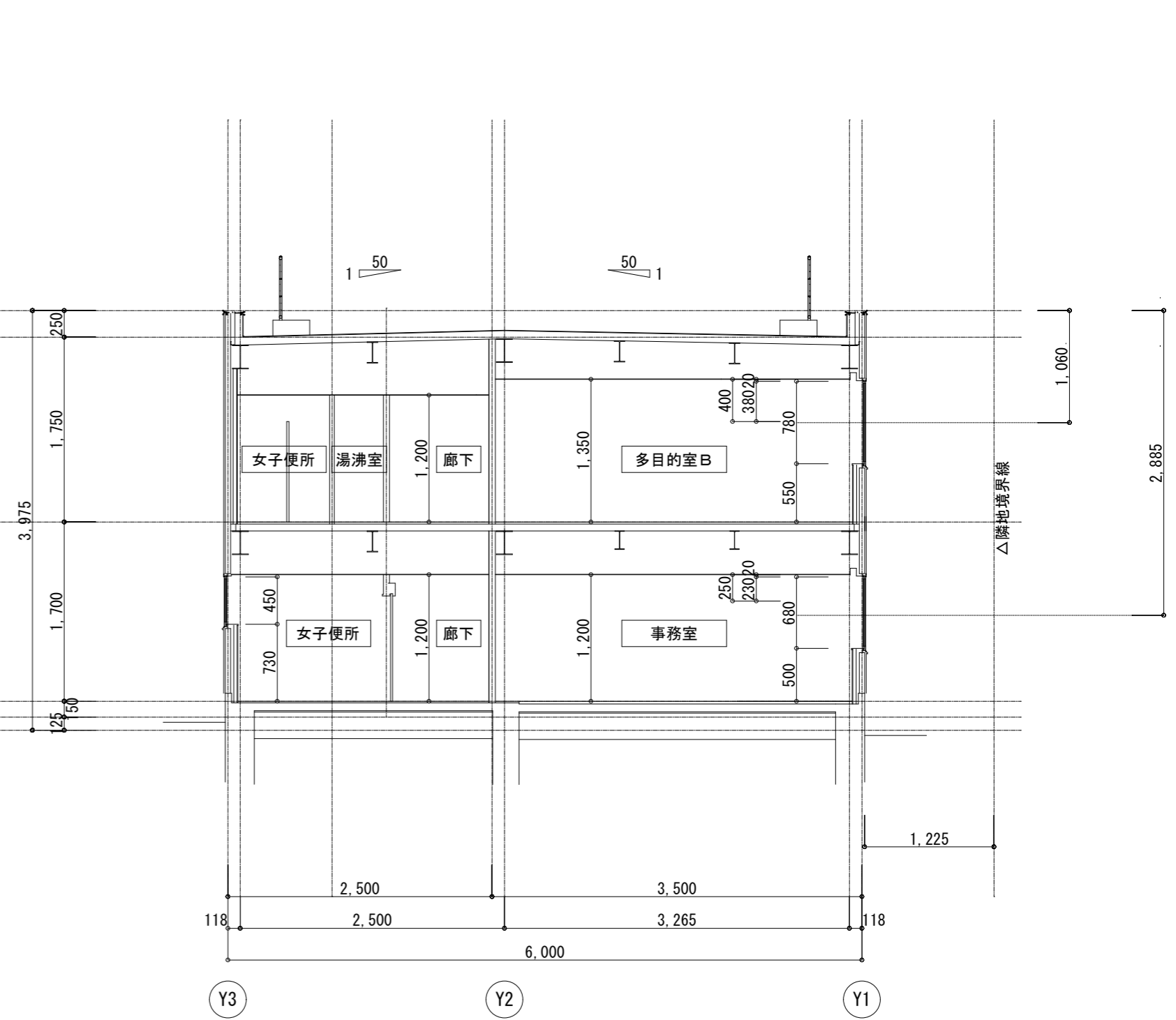
工事名 津市一身田公民館建築工事

図名 立面図 (2)

NO. A-16 / 51



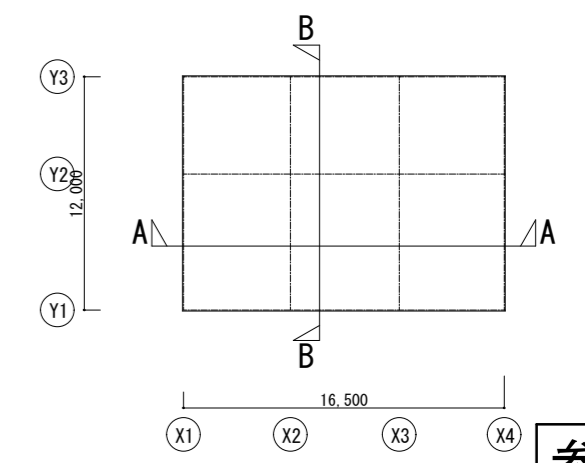
A-A 断面図 1/100



B-B 断面図 1/100

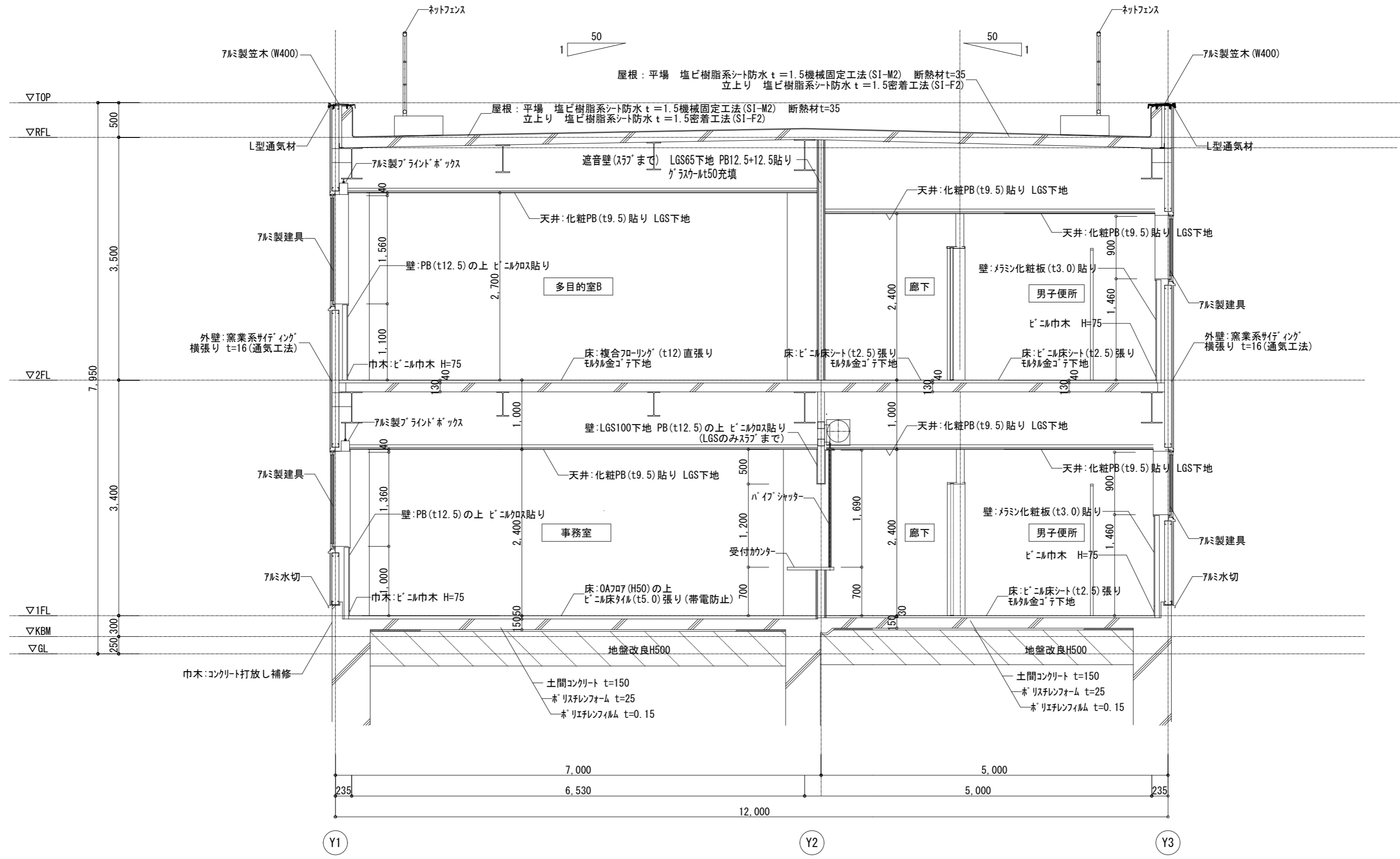
採光補正係数 : $2450/2120 \times 6 - 1.4 = 5.533962$

採光補正係数 : $2450/5770 \times 6 - 1.4 = 1.14766$

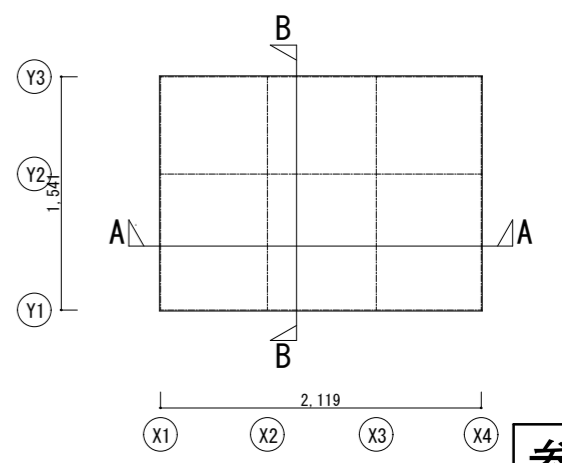


参考

原図 : A2



B-B 矩計図 1/50



参考

原図: A2